

教育委員会の事務の管理及び執行状況の

点検及び評価の報告書

平成29年度対象

YACHIMATA



八街市教育委員会

平成30年9月

目 次

八街市民憲章、青少年健全育成都市宣言	1
やちまた教育の日、市の花「ヒマワリ」制定	2
総括 1. 点検評価の目的及び対象	3
2. 点検評価の期日	3
3. 点検評価の方法	3
4. 平成29年度事業の概要	4
5. まとめ	4
事務事業評価一覧表	7
教育委員会の事務事業評価シート	
1. 教育委員会諸費	11
2. 教育委員会事務局諸費	13
3. 小学校施設整備事業費	15
4. 小学校空調設備整備事業費	17
5. 小学校管理諸費	19
6. 小学校施設維持管理費	21
7. 小学校施設改修事業費	23
8. 中学校施設整備事業費	25
9. 中学校管理諸費	27
10. 中学校施設維持管理費	29
11. 中学校施設改修事業費	31
12. 幼稚園施設整備事業費	33
13. 幼稚園諸費	35
14. 幼稚園施設維持管理費	37
15. 教育指導諸費	39
16. 外国語指導助手事業費	41
17. 教育支援センター管理運営費	43
18. 教育センター運営費	45
19. 育て八街っ子推進事業費	47
20. 教育支援体制整備事業費	49
21. 小学校教育振興費	51
22. 小学校教材備品等購入費	53
23. 小学校理科教育振興用備品購入費	55
24. 小学校児童援助奨励費	57

25. 中学校教育振興費	・ ・ ・ ・ ・	59
26. 中学校教材備品等購入費	・ ・ ・ ・ ・	61
27. 中学校理科教育振興用備品購入費	・ ・ ・ ・ ・	63
28. 中学校生徒援助奨励費	・ ・ ・ ・ ・	65
29. 学校保健管理費	・ ・ ・ ・ ・	67
30. 学校保健諸費	・ ・ ・ ・ ・	69
31. 社会教育振興費	・ ・ ・ ・ ・	71
32. 青少年健全育成費	・ ・ ・ ・ ・	73
33. 文化財保護費	・ ・ ・ ・ ・	75
34. 中央公民館管理運営費	・ ・ ・ ・ ・	77
35. 中央公民館整備事業費	・ ・ ・ ・ ・	79
36. 図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)	・	81
37. 図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)	・ ・	83
38. 視聴覚教材センター管理運営費及び視聴覚教材整備費	・ ・ ・	85
39. 郷土資料館管理運営費	・ ・ ・ ・ ・	87
40. 市史編さん費	・ ・ ・ ・ ・	89
41. 八街市ピーナツ駅伝大会運営費	・ ・ ・ ・ ・	91
42. 学校開放推進費	・ ・ ・ ・ ・	93
43. 保健体育総務費	・ ・ ・ ・ ・	95
44. 体育振興費	・ ・ ・ ・ ・	97
45. 郡市民体育大会運営費	・ ・ ・ ・ ・	99
46. 体育施設維持管理費	・ ・ ・ ・ ・	101
47. 体育施設整備事業費	・ ・ ・ ・ ・	103
48. スポーツプラザ管理運営費	・ ・ ・ ・ ・	105
49. スポーツプラザ整備事業費	・ ・ ・ ・ ・	107
50. 学校給食センター一般管理費	・ ・ ・ ・ ・	109
51. 学校給食センター調理場維持管理費	・ ・ ・ ・ ・	111
52. 学校給食センター調理場給食事業費	・ ・ ・ ・ ・	113

八街市民憲章

わたくしたちの八街は、開拓の歴史と恵まれた自然環境の中で、先人の努力によって栄えてきたまちです。

わたくしたちは、「ヒューマンフィールドやちまた」を目指して、調和のとれたよりよいまちづくりのために、この憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう。
1. 自然を大切にし、潤いのある美しいまちにしましょう。
1. きまりを守り、明るい住みよいまちにしましょう。
1. おもいやりのある、心のかよった豊かなまちにしましょう。
1. スポーツに親しみ、健康で働くたくましいまちにしましょう。



〈平成4年9月28日制定〉

八 街 市

青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを大きく発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは、市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。



〈平成20年3月19日制定〉

八 街 市

11月12日は「やちまた教育の日」

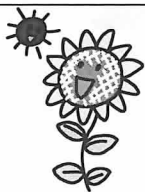
八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいただき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

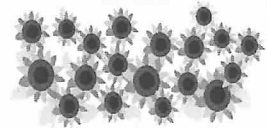
八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。



〈平成22年4月1日制定〉
八街市教育委員会



市の花『ヒマワリ』



市制施行20周年の節目において、市の花を「ヒマワリ」に指定しました。

天に向かって一直線に伸び、鮮やかな大輪の花を咲かせるイメージから『【ひ】かり輝き、【ま】わりを照らす、【わ】たしもあなたも、【り】っぱに育てよ』と、次代を担う子どもたちへの思いを込め、「ヒマワリ」が市の花に決定しました。

〈平成25年2月1日制定〉
八 街 市

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項 に基づく教育委員会の点検及び評価について（総括）

1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、本年度も平成29年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

その他、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校及び教育施設の教育委員会訪問を行いました。その際、授業や施設の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校及び教育施設の状況を把握することに努めました。

2. 点検評価の期日

- | | |
|-------------------------|------------|
| ①担当課による一次評価 | 平成30年5月30日 |
| ②教育委員会による二次評価 | 平成30年7月20日 |
| ③教育に関して知見を有する者を活用した外部評価 | 平成30年8月17日 |

3. 点検評価の方法

平成29年度の点検及び評価の実施にあたっては、「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートにより評価を実施しました。

事務局等の評価は、一次評価として位置づけ、関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

二次評価については、昨年度と同様に教育委員5名による評価とし、シートの評価欄については、5名の評価を取りまとめた判定結果を4段階（A, B, C, D）で記載しました。

さらに、この評価結果について、教育に関し学識経験を有する方2名の知見を受け、事務事業の外部評価としました。

二次評価及び外部評価の結果一覧については、7ページから9ページに「事務事業評価結果一覧表」として記載しました。

4. 平成29年度事業の概要

八街市教育委員会では、平成29年度においても、八街市総合計画2015における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の実現に向け、重点施策として、「八街市教育施策」においても取り組んでいるⅠ『子どもの教育・健全育成の充実』、Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』、Ⅲ『市民文化の創造と継承』、Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開しています。

施策がめざす基本的方向としましては、次の方針に基づいた事業に取り組んでいます。

Ⅰ『子どもの教育・健全育成の充実』では、

子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、学校教育の充実に努めるとともに、社会教育では、家庭教育支援の充実に努め、学校・家庭・地域が連携した青少年健全育成に努める。

Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』では、

市民の多様化・複雑化・高度化するさまざまな学習課題に対応できる社会教育機会の充実に努める。また、学校施設の開放の充実に努めることにより、市民に広くスポーツ・レクリエーションの機会を提供できるよう努める。

Ⅲ『市民文化の創造と継承』では、

芸術文化活動の推進を図るとともに、文化財の保護、郷土資料館の充実、市史編さん事業の推進に努める。

Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』では、

ピーナッツ駅伝大会や市民体育祭などのスポーツ大会や市民文化祭、市民音楽祭などの芸術活動をとおして、市内外の人々が交流する場の提供に努める。

5. まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価結果一覧表のとおりであります。

教育委員会の平成29年度に執行した事務事業については、総じて厳しい財政状況の中で、工夫・努力し推進しており、全体を通して事務事業において概ね適正であったと評価をいただきました。

外部評価としては、平成22年度（平成21年度実施分）から2名の方にお問い合わせしており、それぞれの評価を記載しました。

二次評価（教育委員）の意見等

・ 厳しい財政状況の下、施設・設備の老朽化に伴う改修・修繕、更に新たな課題への対応と各所管のご苦勞と工夫が伺えます。そのような状況下ですが、小学校「英語」と「道徳」の教科化の実施には、優先的に、できる限り財政的、人的な配慮をお願いしたいと思います。

- ・ 限りある予算の中で、年度当初に計画された事業は、概ね遂行されていると思います。
また、老朽化が進む教育施設がある中、必要不可欠な改修・修繕がよくなされていると思料されます。
- ・ 平成29年度は、スクールソーシャルワーカーや教育センター指導員の雇用、英語科指導主事の増員、そして、タブレットを7校に導入（残りは次年度）するなど、特に、学校教育に手厚い予算が講じられたことは、大変嬉しく、有難いことです。更に、ALTの増員や川上小学校の空調設備の設計業務を手初めに、全校設置への道も開かれたので、是非、それらの事業が、当市の学校教育が抱えている大きな課題である学力向上や長欠者の減少に繋げていきたいものです。
- ・ 今、学校では学力向上に向けて鋭意努力している。連携教育も学力向上にシフトした連携教育に変革してきている。
そのために市としてもタブレットの導入、エアコンの設置、校務用支援パソコンへの更新、新学習指導要領の実施、道徳や小学校英語の実施に伴い、指導書、ALTの増員など、大きな支援を実施していただいている。
今後も支援に答えるべく、一層の学力向上、長欠対策を推進していきたいと考える。
- ・ 中央公民館の将来を見据えた事業の立ち上げが必要と考える。文化のかおり高いまちづくりには、中央公民館の充実は不可欠であろう。

外部評価の意見等

- ・ 一次評価としての自己評価を通して、各部署・職員がそれぞれ担当する事務事業の効果的かつ効率的な推進に熱心に取り組んでいる様子が伺え、事務事業全般にわたり概ね適切に実施されたものと判断します。
本年度においては、特に、ALTの雇用契約形態の切り替えや増員を通じた英語教育の充実、就学援助制度の周知方法の改善による制度利用の促進、図書館と視聴覚教材センターの統合、施設の長寿命化に向けた検討など、これまで課題となっていた事柄の解決に向けていくつかの取り組みが進められてきており、これらは高く評価すべきものと考えます。
財政的な制約などもあるとは思いますが、今後も継続的に課題の把握とその解決に向けた検討を進めていただくよう期待します。
- ・ 事務事業の外部評価を行い、そのほとんどが適切に実施されており、検討の余地はないものであった。限られた予算、限られた人員の中で知恵をしぼり、汗を流してくれる教育委員会事務局の日常に敬意を払います。
なお、以下の項目については、今以上に充実した事務事業展開になるよう期待します。
 - ① 教育指導諸費において、カウンセリングの回数は減少しているが、各校の担当・担任と連携し、日常の教育相談体制を充実させて欲しい。
 - ② 育て八街っ子推進事業において、今の安定を今後のステップにつなげて

- 欲しい。「子どもたち同士・学校間をつなぐ絆」の進展にも期待できる。
- ③教育支援体制整備事業において、インクルーシブ教育を進める上で、児童・生徒の情報、個別指導計画は重要である。
 - ④小学校児童・中学校生徒援助制度奨励費において、認定基準と各家庭の生活実態の把握をきちんと行って欲しい。
 - ⑤社会教育振興費において、ややもすると家族・地域の関係が希薄になっている時代、振興大会等の機会を活用したい。
 - ⑥青少年健全育成費において、諸健全育成の事業が、土地の耕しに似た効果を出している。こども110番事業は、P T A・地域の皆さまに感謝します。
 - ⑦視聴覚教材費において、I T化の時代、図書館業務と視聴覚教材、機材の有効利用は、現場や社会教育団体のニーズを受け入れながら充実を図って欲しい。

※この評価結果につきましては、ホームページで公表しております。

八街市のイメージキャラクター



事務事業評価一覧表 〔平成29年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
1	9	1	1	教育総務課	教育委員会諸費	A	A	A	A	A	A	A
2	9	1	2	教育総務課	教育委員会事務局諸費	A	A	A	A	A	A	A
3	9	2	1	教育総務課	小学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
4	9	2	1	教育総務課	小学校空調設備整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
5	9	2	1	教育総務課	小学校管理諸費	A	B	A	A	A	A	A
6	9	2	1	教育総務課	小学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
7	9	2	3	教育総務課	小学校施設改修事業費	A	A	A	A	A	A	A
8	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
9	9	3	1	教育総務課	中学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
10	9	3	1	教育総務課	中学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
11	9	3	3	教育総務課	中学校施設改修事業費	A	A	A	A	A	A	A
12	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
13	9	4	1	教育総務課	幼稚園諸費	A	A	A	A	A	A	A
14	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
15	9	1	3	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	B	B
16	9	1	3	学校教育課	外国語指導助手事業費	A	A	A	A	A	A	A
17	9	1	3	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	A	A	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
18	9	1	3	学校教育課	教育センター運営費	A	A	B	A	A	A	A
19	9	1	3	学校教育課	育て八街っ子推進事業費	B	B	B	A	B	B	B
20	9	1	3	学校教育課	教育支援体制整備事業費	A	B	B	B	B	B	B
21	9	2	2	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
22	9	2	2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
23	9	2	2	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
24	9	2	2	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
25	9	3	2	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
26	9	3	2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
27	9	3	2	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
28	9	3	2	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
29	9	6	2	学校教育課	学校保健管理費	A	A	A	A	A	A	A
30	9	6	2	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	B	A	A	A
31	9	5	1	社会教育課	社会教育振興費	A	B	B	A	B	B	B
32	9	5	1	社会教育課	青少年健全育成費	B	B	B	A	B	B	B
33	9	5	1	社会教育課	文化財保護費	A	B	A	A	A	A	B
34	9	5	2	中央公民館	中央公民館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
35	9	5	2	中央公民館	中央公民館整備事業費	A	A	A	A	A	B	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
36	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (臨時職員の雇用、施設等の維持管理)	A	A	A	A	A	A	A
37	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (資料収集、読書の普及、利用促進)	A	A	A	A	A	A	A
38	9	5	4	図書館 (視聴覚教材 センター)	視聴覚教材センター管理運営費 及び視聴覚教材整備費	B	B	B	A	B	B	B
39	9	5	5	郷土資料館	郷土資料館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
40	9	5	6	郷土資料館	市史編さん費	A	A	A	A	A	A	A
41	9	6	1	スポーツ振興課	八街市ピーナッツ駅伝大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
42	9	6	1	スポーツ振興課	学校開放推進費	A	A	A	A	A	A	A
43	9	6	1	スポーツ振興課	保健体育総務費	A	A	A	A	A	A	A
44	9	6	1	スポーツ振興課	体育振興費	A	A	A	A	A	A	A
45	9	6	1	スポーツ振興課	郡市民体育大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
46	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
47	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
48	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
49	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
50	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター一般管理費	A	A	A	B	A	B	A
51	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理費	A	A	B	A	A	A	A
52	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場給食事業費	A	A	A	A	A	A	A

教育委員評価の判定について

教育委員評価判定内規

各項目の判定にあたって、各委員の評価の取りまとめ方について

	i 委員	ii 委員	iii 委員	iv 委員	v 委員		
例①	A	A	A	A	A	評価	A
例②	A	A	A	A	B	評価	A
例③	A	A	A	B	B	評価	B
例④	A	A	A	B	C	評価	B
例⑤	A	A	A	A	C	評価	A
例⑥	A	A	A	C	C	評価	B
例⑦	A	A	B	B	C	評価	B
例⑧	A	A	B	C	C	評価	B
例⑨	A	B	B	C	C	評価	C
例⑩	B	B	B	C	C	評価	C

下位が2以上あれば下位評価とする

下位評価が1の場合は上位評価とする

下位が2以上あれば下位評価とする

この他の評価パターンが生じた場合は上記の基準に照らし判断するものとします。

教育委員会の評価基準

Check 事務事業の評価

- 必要性** 市民からのニーズ、手段、及び市が関与することの妥当性について検証します。
- * 市民ニーズ
 - a・・・増大若しくは極めて高い
 - b・・・高い
 - c・・・やや低い
 - d・・・低い
 - * 妥当性
 - a・・・法定受託事務や市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業など
 - b・・・公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業
 - c・・・役割分担可能であるが市関与が望ましい事業
 - d・・・市で関与することは妥当性が少ない(民営化または縮小・廃止を検討すべき)
- 有効性** 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a・・・期待された成果以上の高い成果が得られた
 - b・・・概ね期待通りの成果が得られた
 - c・・・成果はやや低い
 - d・・・成果は低い
- 効率性** 事業効率の向上、コスト低減の可能性などについて検証します。
- a・・・向上の余地なし(低減の余地は全くない)
 - b・・・向上の余地はあまりない(低減の余地はあまりない)
 - c・・・向上の余地あり(低減の余地あり)
 - d・・・向上の余地は大きい(低減の余地は大きい)
- 公平性** 事業効果の配分や受益者負担の公平性について検証します。
- a・・・検討の余地なし
 - b・・・検討の余地はあまりない
 - c・・・検討の余地あり
 - d・・・検討の余地は大きい
- 総括評価** 事務事業の総括及び実施上の課題について検証します。
- 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a・・・適切に実施されており検討の余地はない
 - b・・・概ね適切に実施されており検討の余地はあまりない
 - c・・・検討の余地あり
 - d・・・検討の余地は大きい

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	教育委員会諸費							部 局	教育委員会				
								課等・班	教育総務課・庶務班				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()							実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会表彰規程				
直接の対象者(～に対して)	市民							最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	・教育行政について、広く社会の常識や市民のニーズを反映させるため、大所高所から審議を行い、基本的方針や具体的な施策の実施内容について合議制により決定する。 ・教育委員会の活性化を図るため、教育委員の資質・能力の向上を図る。 ・教育、学術、文化又はスポーツの振興に関し、優秀な人材育成に資する。												
具体的な事業内容(～を行う)	・教育委員会定例会及び臨時会を開催する。 ・教育委員による学校等教育機関の訪問を実施する。 ・教育委員の研修等への参加。 ・教育委員会表彰を実施する。												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)						
	事業の実績	1	教育委員会定例会・臨時会開催数	回	15	15	14	13					
		2	教育委員の研修等への参加	回	3	4	3	3					
		3	教育委員会表彰被表彰者	人(団体)	17	34	25	30					
	事業の効果	1	教育委員会議案審議件数	件	55	50	51	50					
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・教育委員会において、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、適正な実施・運営に努めた。また、その構成員である教育委員においては、県並びに印旛郡市の協議会が主催する研修等に積極的に参加し、能力の向上が図られている。 ・教育、学術、文化又はスポーツに関し、功績が顕著であった個人又は団体を顕彰し、優秀な人材の育成に寄与した。										
	④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
(最終)予算額		千円	225	222	220	210							
決算額			千円	168	200	168							
		特定・その他財源()	千円										
		一般財源	千円	168	200	168							
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	47										
		負担金	121										

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		A
有効性	a	月1回の定例会の開催に合わせ、教育機関の訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
効率性	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な執行を行っている。また、審議の内容により臨時会を開催することもあるが、経費等には影響しない。		A
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市の教育行政全体へ反映されるため、公平性に問題はない。	A
総括評価	a	市のホームページで議事録(公表できない部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応じていく。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
			評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向				
30年度における取組のPRと方向性	・教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握し、より実効的な活動をするため、17年度から実施している教育機関訪問を引き続き実施し、議事録は引き続きホームページで公開していく。また、「やちまた教育の日」のPRに努める。			
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・教育委員会議は、教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 ・さらに現状を把握し、「教育総会議」の利活用を充実し、教育委員会の一層の活性化を図る。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		教育委員会事務局諸費						部 局	教育委員会	
								課等・班	教育総務課・庶務班	
								電話番号	443-1442	内線 2353
								E-mail	kyousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)	教育委員会事務局						最終的な受益者	市民	
	事業目的(〜という状態にするために)	・教育委員会が実施する施策等を円滑かつ効果的に行う。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・教育委員会で雇用する臨時職員に係る雇用保険及び労災保険のとりまとめを行う。 ・教育委員会の代表である教育長に係る経費を支出する。 ・事務事業の点検及び評価を実施する。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	1	教育委員会臨時職員	人	107	111	104	105		
		2	教育長交際費	件	25	26	12	15		
	事業の効果	1	臨時職員の保険料	千円	1,257	1,115	1,011	1,162		
		2	教育長交際費	千円	179	180	57	150		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務が円滑に進められた。							
	④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
		(最終)予算額		千円	2,658	3,351	3,090	2,956		
		決算額		千円	2,289	2,855	2,568			
特定・その他財源()			千円	393	301	216				
		一般財源	千円	1,896	2,554	2,352				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		共済費	1,011	需用費	255					
		賃金	827	負担金及び補助金	213					
		交際費	57							

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要であるため。		
有効性	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。		
効率性	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。	
総括評価	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくか。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
			評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向				
30年度における取組のPRと方向性	・平成26年度に策定した教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育行政を行う。			
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるよう努める。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		小学校施設整備事業費						部 局	教育委員会	
								所管課等	教育総務課・施設班	
								課等・班	443-1442 内線 2355	
								電話番号	443-1442 内線 2355	
								E-mail	kyousou@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備		
① 事務事業の概要		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
		直接の対象者 (～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員		
		事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。							
		具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。							
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績	1	工事請負契約数	件	13	13	26	14	
			2	委託件数	件	0	0	1	1	
		事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	10,533	10,043	24,552	53,921	
			2	委託の実施	千円	0	0	432	497	
		事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・H29の主な工事として、実住小学校屋上防水改修工事、小学校消防設備改修工事等を実施した。							
④ 事業コスト		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
		(最終) 予算額	千円	10,535	10,043	25,051	53,921			
		決算額	千円	10,533	10,043	24,984				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	10,533	10,043	24,984				
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	工事請負費	24,552						
			委託料	432						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・施設維持管理工事(6,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 ・校外要求の実住小学校屋上防水改修工事、小学校消防設備改修工事等は、適時適切な工事を実施していく。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要															
事務事業名		小学校空調設備整備事業費						部 局		教育委員会					
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた											
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街											
		E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp		電話番号		443-1442		内線 2355					
① 事務事業の概要		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針					
		直接の対象者 (～に対して)		小学校				最終的な受益者		小学生・教職員					
②		事業目的 (～という状態にするために)		・小学校に空調設備を設置し、児童の教育環境の向上を図る。											
		具体的な事業内容 (～を行う)		・H29 川上小学校の空調設備設置工事設計業務の委託を行う。 ・H30 川上小学校の空調設備設置工事を行う ・H30 川上小学校の空調設備設置工事監理業務を行う。											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		・八街市教職員組合・八街市小中学校校長会から空調設備の設置要望がある。 ・議会の一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。											
		Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
		事業の実績		1 工事請負契約数		件		0		0		0		2	
				2 業務委託契約数		件		0		0		1		1	
		事業の効果		1 施設設備の改修工事の実施		千円		0		0		0		110,697	
				2 設計及び監理業務の実施		千円		0		0		1,869		2,679	
				3 工事に伴う消耗品		千円		0		0		0		205	
		事業効果に関する外部要因		・良好な教育環境の施設整備が求めており、各方面から強く要望されているため、事業計画、整備手法等の検討が必要である。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・H29に川上小学校の空調設備設置工事設計業務を発注した。この業務で、整備に必要な各種内容(空調方式、熱伝達方式、動力源、保守、室内機、室外機、イニシャルコスト、ランニングコスト、県内の自治体状況、最新設備の整備状況等)を検討した。													
④ 事業コスト		区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
		(最終)予算額		千円		0		0		4,212		113,581			
		決算額		特定・その他財源()		千円		0		0		1,869			
				一般財源		千円		0		0		1,869			
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費		0									
		委託料		1,869											
		工事請負費		0											

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	近年の夏は猛暑続きであり、児童の学習環境の改善からも冷暖房設備設置は必要である。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか		a	児童の学習環境の改善を進めることが出来た。		A
効率性	事業の効率性を高められますか		a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎の改修、避難所の機能向上、児童の生活環境を確保するもので公平である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・川上小学校の空調設備整備工事及び工事監理業務を実施する。				
	事務事業の今後の方向性	近年の夏は猛暑続きであり、児童の学習環境の改善からも冷暖房設備設置は必要であるため、早々に整備を行う必要がある。なお、全小学校の整備手法の検討のうち、予算の平準化、補助金の活用、全学校整備の公平性等を重点的に考慮する必要がある。				
取り組み方向						
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校管理諸費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・庶務班	
								電話番号		443-1442 内線 2353	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業			
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)					実施根拠		八街市小学校設置条例	
	直接の対象者 (〜に対して)		全市立小学校児童					最終的な受益者		市民	
	事業目的 (〜という状態にするために)		・小学校運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。								
	具体的な事業内容 (〜を行う)		・小学校用務員の雇用管理に関する事務を行う。 ・小学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)9校分	千円	13,239	13,002	13,293	13,340			
		2	需用費(光熱水費)9校分	千円	46,157	37,104	36,312	37,946			
		3	役務費(通信運搬費)9校分	千円	4,068	3,418	3,538	3,424			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	86,710	79,735	80,750	72,189				
	決算額			千円	82,421	71,192	70,552				
		特定・その他財源()		千円	1,196	1,212	1,085				
		一般財源		千円	81,225	69,980	69,467				
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費	2,186	役務費	4,594						
		賃金	8,346								
		需用費	55,018								

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。	
市の関与は妥当ですか		a	学校運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。			
	事務事業の今後の方向性	取組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
		・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		小学校施設維持管理費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		教育総務課・施設班	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1442 内線 2355	
		E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp									
① 事務事業の概要		具体的施策		学校教育の充実						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者 (～に対して)		小学校						最終的な受益者		小学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)		・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)		・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		事業の実績		1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	20	24	34	34			
				2	学校施設の修繕契約数	件	79	57	85	85			
				3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	12	11	4	4			
				4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	30	15	15	15			
事業の効果		1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	13,937	15,362	21,406	22,676					
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,716	5,463	5,730	5,400					
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	1,440	1,907	569	460					
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	3,860	3,712	4,139	3,104					
事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。											
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円	30,895	30,549	33,072	31,640					
		決算額		千円	24,953	26,444	24,987						
				特定・その他財源()	千円								
				一般財源	千円	24,953	26,444	24,987					
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	6,366	使用料及び賃借料	3,354								
		役務費	569	備品購入費	3,503								
		委託料	18,052										

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。
市の関与は妥当ですか			a	市立学校であり、市が実施する事業である。	
有効性	期待された効果は得られていますか		b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。	B
効率性	事業の効率性を高められますか		a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費の削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図りにしている。	A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。	A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。(例：照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)の賃借については、平成27年度から8年間のリース、またAED(全校)及び複写機(全校)の賃借について、実住小は平成26年から、その他の学校は平成28年から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 小学校の便所が老朽化しているため、小学校6校のトイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、衛生面及び環境面の向上を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成30年度も測定を行う。 			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <ul style="list-style-type: none"> 児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校施設改修事業費(明許繰越分)						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・施設班	
								電話番号		443-1442 内線 2355	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざましす！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
直接の対象者(〜に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(〜という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、児童の安全確保および学校生活環境の向上を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・避難所となる小学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。 ・調査に基づき、屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	6	4	2	0			
		2	業務委託契約数	件	7	3	1	0			
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	121,417	75,387	34,214	0			
		2	設計及び監理業務の実施	千円	4,218	2,342	497	0			
		3	工事に伴う消耗品	千円	137	176	69	0			
	事業効果に関する外部要因	・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、平成27年度までに耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されているが、全て完了していない。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	・交進小学校、二州小学校、八街東小学校の3校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H27) ・川上小学校、笹引小学校の2校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H28) ・八街北小学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H29)									
	④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	278,325	164,151	55,340	0			
決算額				千円	125,772	77,905	34,780				
		特定・その他財源()	千円	学校施設環境改善交付金	42,817	26,419	11,919				
		一般財源	千円		82,955	51,486	22,861				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	69							
			委託料	497							
			工事請負費	34,214							

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎があり児童の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。 老朽化した便所は、悪臭等があり、生活環境が悪く改善する必要がある。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	耐震改修工事を実施することにより、児童の安全が確保できる。 防災備蓄倉庫、災害用トイレの設置により、避難所としての機能が向上する。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はあまり無い。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎の改修、避難所の機能向上、児童の生活環境の確保するもので公平である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、児童の安全を確保しなければならない。 地域の避難所としての機能や児童の良好な生活環境は、確保しなければならない。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
		<ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場の非構造部材の耐震改修は、児童の安全確保と避難所という観点から早急を実施し、工事前年度に調査した学校については、翌年度中に完了させることが重要である。(残りは、二州小学校沖分校の屋内運動場) ・校舎の非構造部材の耐震改修が未実施のため、児童の安全確保という観点から早急に実施が必要 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設整備事業費						部 局		教育委員会	
								所管課等		教育総務課・施設班	
								電話番号		443-1442 内線 2355	
								E-mail		kyousou@city.vachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校施設の整備	
① 事務事業の概要		実施方法						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						最終的な受益者		中学生・教職員	
		直接の対象者(～に対して)		中学校							
		事業目的(～という状態にするために)		・施設設備等の改修工事を行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。							
		具体的な事業内容(～を行う)		・学校施設の改修、設備の交換等を行う。 ・八街南中学校の受水槽が漏水しているため、交換工事を行う。(H28) ・八街中央中学校の屋内運動場の床が老朽化しているため、改修工事を行う。(H29) ・中学校4校の消防設備が老朽化しているため、改修工事を行う。(H29) ・八街南中学校プレハブ校舎の床が老朽化しているため、改修工事を行う。(H30) ・八街中央中学校のグラウンド南東に歩行者等の安全確保のため、防球ネット設置工事を行う。(H30)							
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		1	工事請負契約数	件	9	9	18	6	
				2							
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	3,810	15,091	27,516	13,991	
				2							
		事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に努めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・H29の主な工事として、八街中央中学校屋内運動場床改修工事、中学校消防設備改修工事等を実施した。							
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終)予算額		千円	3,862	15,181	27,516	13,991			
		決算額		千円	3,810	15,091	27,516				
		特定・その他財源()		千円							
		一般財源		千円	3,810	15,091	27,516				
		29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費 27,516							

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・施設維持管理工事(4,500千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 ・校外要求の八街南中学校プレハブ校舎床改修工事、八街中央中学校防球ネット設置工事外を行う。(H30)			
	事務事業の今後の方向性	取組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校管理諸費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・庶務班	
								電話番号		443-1442 内線 2353	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業			
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)					実施根拠		八街市中学校設置条例	
	直接の対象者 (〜に対して)		全市立中学校生徒					最終的な受益者		市民	
	事業目的 (〜という状態にするために)		・中学校運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。								
	具体的な事業内容 (〜を行う)		・中学校用務員の雇用管理に関する事務を行う。 ・中学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)4校分	千円	9,276	9,130	9,421	9,504			
		2	需用費(光熱水費)4校分	千円	31,794	24,529	24,861	24,529			
		3	役務費(通信運搬費)4校分	千円	2,368	1,944	1,848	1,954			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	60,082	53,713	53,170	49,765				
	決算額			千円	55,880	46,980	47,580				
		特定・その他財源()		千円	569	582	592				
		一般財源		千円	55,311	46,398	46,988				
	29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		共済費	1,191	役務費	2,542					
		賃金	5,006								
		需用費	38,557								

Check 事務事業の評価					
区分		一次評価	判定理由		二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
	市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		中学校施設維持管理費						部 局	教育委員会	
								課等・班	教育総務課・施設班	
								電話番号	443-1442	内線 2355
								E-mail	kyousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員		
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	16	17	18	18		
		2	学校施設の修繕契約数	件	52	51	53	53		
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	4	4	3	3		
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	11	10	9	9		
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	6,700	8,131	7,928	9,879		
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	4,891	4,415	5,253	4,500		
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	299	277	233	65		
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	1,846	2,247	3,210	1,986		
	事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。								
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	14,984	16,522	17,771	16,430			
	決算額			千円	13,736	15,070	16,624			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源		千円	13,736	15,070	16,624				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	6,049	使用料及び賃借料	1,510					
		役務費	233	原材料費	194					
		委託料	6,418	備品購入費	2,220					

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分	一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
			評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例: 照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) ・消火器(全校)については、平成27年度から8年間、AED(全校)は平成30年度から5年間、複写機(中央中)については平成26年から、その外の学校は平成28年から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 ・平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成30年度も測定を行う。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校施設改修事業費						部 局		教育委員会			
								課等・班		教育総務課・施設班			
								電話番号		443-1442 内線 2355			
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp			
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱		五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街									
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実									
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校施設の整備			
① 事務事業の概要		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
		直接の対象者 (～に対して)		中学校						最終的な受益者		中学生・教職員	
		事業目的 (～という状態にするために)		・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。									
		具体的な事業内容 (～を行う)		・避難所となる八街南中学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。(H28) ・調査に基づき、屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行う。 ・八街中学校の避難階段設置工事と監理業務を行う。(H28,29) ・八街北中学校の空調設備改修工事を行う。(H29)									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		・生徒の学校生活環境の向上を図るために。 ・議会の一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。							
Do 事務事業の実施													
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
③ 実績・成果		事業の実績		1	工事請負契約数	件	0	3	2	0			
				2	業務委託契約数	件	2	2	0	1			
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	115,584	0	0			
				2	設計及び監理業務の実施	千円	3,078	994	0	4,200			
				3	工事に伴う消耗品	千円	0	102	0	0			
		事業効果に関する外部要因		・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、平成27年度までに耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・八街南中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H28) ・八街中学校の避難階段設置工事等を実施した。(H28,29) ・八街北中学校空調設備改修工事を実施した(H29)									
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円	101,961	131,878	9,306	4,200					
		決算額		千円	3,078	116,580	9,044						
				特定・その他財源()	千円	0	28,469	0					
		一般財源		千円	3,078	88,111	9,044						
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	0	委託料	0	工事請負費 9,044					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎等があり生徒の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。	A
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか		a	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。 浄化槽改修工事を実施することにより、排水基準を確保できる。 	A	
効率性	事業の効率性を高められますか		a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はあまり無い。	A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎を改修するもので公平である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、生徒の安全を確保しなければならない。	A	
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	30年度における取組のPRと方向性	八街中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事調査設計業務を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・屋内運動場の非構造部材の耐震改修は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急を実施し、工事前年度に調査した学校については、翌年度中に完了させることが重要である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園施設整備事業費						部 局		教育委員会	
								所管課等		教育総務課・施設班	
								課等・班		教育総務課・施設班	
								電話番号		443-1442 内線 2355	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		幼児教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		幼稚園教育の充実	
① 事務事業の概要		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
		直接の対象者 (～に対して)		幼稚園				最終的な受益者		幼稚園児・教職員	
		事業目的 (～という状態にするために)		・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。							
		具体的な事業内容 (～を行う)		・幼稚園施設の改修工事等を行う。							
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		1	工事請負契約数	件	0	1	4	1	
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	373	1,229	2,452	
		事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高い改修工事等の実施に努めた。							
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終) 予算額		千円	0	373	1,284	2,452			
		決算額		千円	0	373	1,229				
				特定・その他財源()	千円						
				一般財源	千円	0	373	1,229			
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		工事請負費		1,229					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由		二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A			
市の関与は妥当ですか		a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事などにおいて、優先度の高い改修工事を対応することができた。		B				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼稚園施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A				
外部評価									
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A					
			評価者 2	A					
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・八街第一幼稚園フェンスが老朽化していることから、改修工事を実施する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、幼稚園環境の整備を図る必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園諸費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・庶務班	
								電話番号		443-1442 内線 2353	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		幼児教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		幼稚園教育の充実	
① 事務事業の概要		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園配当)						実施根拠		八街市幼稚園設置条例	
直接の対象者(〜に対して)		全市立幼稚園園児						最終的な受益者		市民	
事業目的(〜という状態にするために)		・幼稚園運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。									
具体的な事業内容(〜を行う)		・幼稚園教諭・特別支援員(臨時職員)の雇用管理に関する事務を行う。 ・幼稚園事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等									
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		1 臨時職員賃金	千円	9,142	9,165	7,340	7,909		
				2 需用費(消耗品費)3園分	千円	1,400	1,430	1,412	1,424		
				3 需用費(光熱水費)3園分	千円	4,267	3,897	4,008	3,897		
		事業の効果									
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な幼稚園運営に寄与した。							
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終)予算額		千円	18,885	19,257	15,980	15,969			
		決算額		千円	18,263	17,882	15,297				
				特定・その他財源()	千円	763	806	437			
				一般財源	千円	17,500	17,076	14,860			
		29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		共済費	881	役員費	677				
				賃金	7,340						
				需用費	6,101						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	教育に対する関心の高まりもあり、幼稚園運営をするうえで必要な施設・設備等の経費である。
市の関与は妥当ですか		a	幼稚園運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
有効性	期待された効果は得られていますか		a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。	A
効率性	事業の効率性を高められますか		a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。	A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。	A
外部評価					
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	29年度における取組のPRと方向性	・幼稚園を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
		・幼稚園を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		幼稚園施設維持管理費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		教育総務課・施設班	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1442 内線 2355	
		E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp									
① 事務事業の概要		具体的施策		幼児教育の充実						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者 (～に対して)		幼稚園						最終的な受益者		幼稚園児・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)		・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)		・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等を実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場・AED・複写機の賃借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		事業の実績		1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	13	13	13	13			
				2	幼稚園施設の修繕契約数	件	12	12	14	14			
				3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	3	2	1	1			
				4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	4	2	2	2			
事業の効果		1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	3,053	3,071	3,144	3,934					
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	985	1,175	838	1,200					
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	90	54	22	22					
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	254	570	681	700					
事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。											
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円	5,154	5,068	4,710	5,856					
		決算額		千円	4,382	4,870	4,685						
				特定・その他財源()	千円								
				一般財源	千円	4,382	4,870	4,685					
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	838	使用料及び賃借料	1,494								
		役務費	22	備品購入費	681								
		委託料	1,650										

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。	
市の関与は妥当ですか		a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例：照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) ・平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成30年度も測定を行う。			
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
		・園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育指導諸費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校教育課・指導室	
								電話番号		443-1446 内線 2367	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		教育支援センターの充実	
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠		学校教育法 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)		幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者		市民	
	事業目的(〜という状態にするために)		充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。								
具体的な事業内容(〜を行う)		カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの小学校への巡回相談を行う。 学校評議員会議の開催									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	676	294	161	250			
		カウンセラーの小学校巡回相談		回	12	12	12	12			
		学校評議員会議の開催		回	3	3	3	3			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因		H25年度からカウンセラーの小学校巡回相談実施									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		カウンセリング件数は減少しているが、巡回相談等を通して問題の早期発見に努めている。徐々に相談件数は増え問題を抱えている児童・生徒・保護者の状態は好転している。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	55,701	55,595	52,929	59,043				
	決算額			千円	54,062	50,933	51,814				
		特定・その他財源()		千円	7,281	4,732	9,815				
		一般財源		千円	46,781	46,201	41,999				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	35	報償費	292	役務費	110				
		共済費	9,815	旅費	151	負担金	1,415				
		賃金	37,092	需用費	2,886	公課費	18				

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。		A			
市の関与は妥当ですか		a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては継続した関わりの中で、児童生徒の安定を目指している。また、学校評議員による学校運営への提言によって望ましい変容を生み出している。		B				
効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。		B				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めていく。		B				
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B				
				評価者 2	B				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	平成28年度よりカウンセラーに関する業務は教育支援センター費へ移行。学校評議員の提言については学校運営に更に生かしていけるように努めていく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉の側面での関わりも必要である。教育委員会では、小学校に新たに校内適応指導教室を設置し、学習指導及び相談体制の構築に更に努めていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		外国語指導助手事業費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校教育課・指導室	
								電話番号		443-1446 内線 2367	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		英語教育の充実		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法施行規則 学習指導要領		
	直接の対象者(〜に対して)	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象						最終的な受益者	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒		
	事業目的(〜という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
			各学校から授業担当時数の確保の要望 ALTの直接雇用								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	小・中学校へのALTの派遣		人	5	5	5	9			
		各幼稚園への派遣		回	3	3	3	3			
		各保育園への派遣		回	3	3	3	3			
	事業の効果	英語に関する興味関心の高まり									
		異文化に対する理解の深まり									
		英語の能力の向上									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった。								
	④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
(最終)予算額		千円	16,200	16,200	16,200	37,390					
決算額				千円	16,200	16,200	16,200				
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円	16,200	16,200	16,200					
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料		16,200							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	2011年4月より小学校5・6年生で英語の授業が必修化され、ALTを活用した授業の必要性を求める意識は高まっている。		A			
市の関与は妥当ですか		a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であると考え。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も妥当である。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	小学校における英語の授業の必修化が実施となってから4年目を迎える。外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集を組まれるほど高まっている。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。		A				
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
					評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	英語における児童生徒へのきめ細かい指導、教職員への研修支援などがさらに充実される。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。今年度より、派遣業務委託となり、さらにALTに人数も増員したことからも、より充実した教育実践が可能になると考えられる。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集を組まれるほど高まっている。、英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力のを向上させていくためには、今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		教育支援センター管理運営費						部 局		教育委員会			
								所管課等		学校教育課・指導室			
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号		443-1446 内線 2367	
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail		gakkvo@city.yachimata.chiba.jp	
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実									
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		教育支援センターの充実			
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		学校教育法 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (〜に対して)		全児童生徒、全保護者						最終的な受益者		市民		
	事業目的 (〜という状態にするために)		学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させるために適応指導教室を設置し、学習支援や教育相談活動を行う。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)		不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援やスキル学習、教育相談を行うとともに、学校、保護者と連携し児童生徒の成長を支援する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		保護者										
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果			区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績		適応指導教室利用者		人	7	12	10	15				
			カウンセラーによるカウンセリング		件数	676	294	161	250				
			カウンセラーの小学校巡回相談		回	12	12	12	12				
	事業の効果		学校復帰児童生徒数		人	2	3	6	8				
事業効果に関する外部要因		29年度より中学生は自転車通学可とした。7月に保護者面談を実施した。通所児童生徒に対してソーシャルスキルトレーニングを行った。学校と積極的な連携をとるため、ケース会議等話をする機会を設けた。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		通所している児童・生徒については、少しずつ通所できる時間が長くなったり、学校へ登校することができた。学校復帰に向けての取り組みの成果は、年度内に学校復帰した人数の他、卒業生1名が全日制高等学校への進路決定ができたことにも現れている。											
④ 事業コスト			区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額				千円	6,566	10,835	12,090	12,213				
	決算額				千円	6,400	10,789	11,993					
			特定・その他財源()		千円	6,199	6,170	6,185					
			一般財源		千円	201	4,619	5,808					
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬		5,460	報償費	24							
		共済費		2,472	需用費	222							
		賃金		3,637	役務費	178							

Check 事務事業の評価									
	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。	A			
市の関与は妥当ですか			a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。					
有効性		期待された効果は得られていますか	a	学校復帰も平成24年度は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。	A				
効率性		事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。	A				
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A				
総括評価		総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性和有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。	A				
外部評価									
	評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	本年度は、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、電話相談員等市の人材を活用し、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の支援に努めていく。幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに応えられるようにするため、平成25年度より小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。なお平成28年度からカウンセラーに関する業務を教育指導諸費より移行。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		教育センター運営費						部 局		教育委員会			
								所管課等		学校教育課・指導室			
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号		443-1446 内線 2362	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実									
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		教育センター運営の充実			
① 事務事業の概要		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		学校教育法 八街市教育センターの設置及び管理に関する条例			
		直接の対象者 (〜に対して)		幼稚園・小・中学校教職員				最終的な受益者					
		事業目的 (〜という状態にするために)		教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児・児童生徒の育成に努める。									
		具体的な事業内容 (〜を行う)		学級経営・学習指導、教務主任、研究主任、学年主任、若年層教員や講師、教育相談、ケース会議、特別支援教育、プログラミング教育・情報モラル育成、道徳指導法、小学校外国語活動の領域について研修会を実施する。また、中学校群研修会、教務主任優良校研修視察、八街市教育講演会を実施する。研究指定を中学校区で行う。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	27年度	28年度	29年度	29年度(目標)					
		事業の実績		研修等実施数	回	24	23	21	20				
				講演会開催数	回	1	1	1	1				
				研究指定	校	3校区	3校区	3校区・二州小	2校区				
		事業の効果											
		事業効果に関する外部要因		他市町村も夏季休業中を中心に研修会を実施している。学校群研修会、中学校区への研究指定は、本市独自のものです。									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		研修会及び講演会の実施により、教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートから分かりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して、肯定的な回答が得られるようになってきた。									
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円		436	450	2,288	2,140				
		決算額		特定・その他財源()		千円	208	282	2,141				
				一般財源		千円	208	282	2,141				
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費		413	需用費		242				
		賃金		1,382	使用料及び賃借料		59						
		報償費		45									

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価から、一層の学力向上、学校改善に対する関心や要望は高い。	
市の関与は妥当ですか		a	若年層教職員も増え、業務改善にも取り組む必要がある中、資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがある。全市を上げての取り組みは必要かつ妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。		B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題は無い。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は新学習指導要領の実施に伴うプログラミング教育や外国語活動に関する充実を図るなど、研修の見直しを図った。 教職員の資質の向上と専門性を高めるための研修会への参加及び、各学校において教育活動の向上のための教育講演会を開催する。 			
	事務事業の今後の方向性	各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。			
取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	育て八街っ子推進事業費							所管課等	部 局	教育委員会
									課等・班	学校教育課・指導室
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446	内線	2361
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	連携教育の推進			
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (〜に対して)	教職員及び児童生徒					最終的な受益者			
事業目的 (〜という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	中学校区の連携教育プランの策定と実施	回	3	3	3	3			
		連携教育アンケートの考察	回	1	1	1	1			
	事業の効果									
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	(最終) 予算額		千円	425	578	356	307			
	決算額			千円	237	361	283			
		特定・その他財源()	千円							
			一般財源	千円	237	361	283			
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	60							
		使用料及び賃借料	223							

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。	B
	市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。	B			
効率性	事業の効率性を高められますか	b	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。	B			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A			
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みです。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものです。	B			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B			
			評価者 2	B			
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	「継続」の重視、「情報発信」の重視、「子どもたち同士、学校間をつなぐ絆」を強化の3点を今年度の重点とし、市内の園児及び児童生徒の生活の安定と健全育成のため、本市の幼小中高連携教育の一層の推進を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育支援体制整備事業費 (平成27・28年度発達障害早期発見継続支援事業からの引継事業)						部 局		教育委員会	
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						所管課等	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		E-mail		gakkyo@city.vachimata.chiba.jp							
① 事務事業の概要		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		特別支援教育の充実	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		学校教育法	
直接の対象者(〜に対して)		市内保育園・幼稚園・小学校・中学校・八街高等学校						最終的な受益者		市民	
事業目的(〜という状態にするために)		各学校より得られた児童生徒にとって有効な支援方法を次の学校へ系統的につないでいく									
具体的な事業内容(〜を行う)		発達障害支援アドバイザー2名により、各チェックシート(保護者に児童生徒の生活面や学習面の状態や配慮を要する事項等を入力していただくシート)を前在籍校の保護者に記入していただき、それと担任による支援の引継ぎシートを後在籍校へ渡し、必要である児童生徒については個別の指導計画を作成して支援の方法をつないでいく。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
		事業の実績		チェックカード記入		人	355	355	5,500	5,500	
				研修会参加		人	90	90			
		事業の効果		引継ぎが必要な児童生徒の引継ぎ人数		人	15	20	240	240	
事業効果に関する外部要因		通常学級における支援の必要な児童生徒の引継ぎツール不足									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		各園、校への巡回及び要請訪問により発達障害の疑いのある幼児・児童・生徒への手立てについて教員や保護者へ理解と方向性について周知することができた。また、チェックカードや個別の指導計画など、つなぎのツールを作成することができ、系統的な引継ぎの形をつくることができた。									
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	3,817	5,319	1,550	3,192			
		決算額		千円	2,893	4,529	1,518				
				特定・その他財源()	千円	2,892	4,520	495			
				一般財源	千円	1	9	1,023			
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金		1,485							
		需用費		33							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価(総括)
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	保護者の関心も高く、チェックシートへの記入等の協力は非常によくやっているので、ニーズは高いと考えられる。		A
市の関与は妥当ですか		a	各校への発達障害支援コーディネーターの派遣等で、事業の中心となっているため妥当と考える。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	引継ぎシートを各校にて活用し、スクリーニングの手立てとして活用事例は徐々に上がってきている。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	チェックシートや個別指導計画の作成に関して、検討をすることで、さらに効率性を高められると考える。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	支援を必要とする児童生徒についてはより効果を得られる。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	保護者や先生方のニーズも高く、八街市の幼小中高連携教育にもつながる形で行っているため、さらに広めていきたい。		B	
外部評価						
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	30年度における取組のPRと方向性	2名の発達障害支援アドバイザーを雇用し、つなぎの部分での活用を図り、チェックカード・個別指導計画(保護者記入・本人記入・教師記入)のツールを活用し、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校、八街高等学校で幼児・児童・生徒の支援の引き継ぎができることが期待できる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 2名の発達障害支援アドバイザーの雇用、活用をし、チェックカード、個別指導計画により市内すべての幼小中高の系統的な引継ぎを行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要														
事務事業名		小学校教育振興費						部 局		教育委員会				
								課等・班		学校教育課・指導室				
								電話番号		443-1446 内線 2363				
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp				
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた										
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街										
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実										
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		基礎的・基本的な学力の定着				
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠		学校教育法				
	直接の対象者 (～に対して)		市内小学校児童					最終的な受益者		市内小学校児童				
	事業目的 (～という状態にするために)		地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。											
	具体的な事業内容 (～を行う)		ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施														
③ 実績・成果	区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
	事業の実績		ゲストティーチャー活用事業 小学校		回		158		159		107		160	
	事業の効果		児童の興味・関心の向上											
			専門的な知識・技能の伝達											
			備品購入(図書)											
事業効果に関する外部要因														
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。												
④ 事業コスト	区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
	(最終) 予算額		千円		28,657		23,816		38,522		46,931			
	決算額		千円		25,658		23,552		38,143					
			特定・その他財源()		千円		200		124					
			一般財源		千円		25,658		23,352		38,019			
	29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費		299		委託料		11,308		備品購入費		5,129	
		需用費		7,158		使用料及び賃借料		13,177						
		役務費		1,002		負担金及び補助金		70						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		
	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。					
有効性	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語における読む力の向上が期待できる。					
効率性	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。				
総括評価	a	各学校の教育活動を工夫・改善し児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
			評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力が子どもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語における読む力の向上に期待ができる。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校教材備品等購入費						部 局	教育委員会		
								課等・班	学校教育課・学務班		
								電話番号	443-1446	内線	2365
								E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校設備・備品の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者(〜に対して)	市立小学校児童					最終的な受益者	市立小学校児童			
	事業目的(〜という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	9	9	9	9				
	事業の効果	教材備品購入費	千円	1,696	1,709	3,041	1,709				
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,709	1,709	3,059	1,709				
	決算額		千円	1,696	1,709	3,041					
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円	1,696	1,709	3,041					
	29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	備品購入費	3,041								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
市の関与は妥当ですか		a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A				
外部評価									
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						部 局		教育委員会	
								所管課等		学校教育課・学務班	
								電話番号		443-1446 内線 2365	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校設備・備品の充実	
① 事務事業の概要		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		学校教育法	
		直接の対象者 (～に対して)		市立小学校児童				最終的な受益者		市立小学校児童	
		事業目的 (～という状態にするために)		小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。							
		具体的な事業内容 (～を行う)		市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。							
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		理科備品現有数	%	82.9	83.9	84.7	84.7		
		事業の効果		理科備品購入費	千円	945	1,109	1,128	1,130		
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。							
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終) 予算額		千円	980	1,130	1,130	1,130			
		決算額		千円	945	1,109	1,128				
		特定・その他財源()		千円	472	553	553				
		一般財源		千円	473	556	575				
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費		1,128					

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由			二次評価		
		必要性	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。			A
市民からのニーズは高いですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
有効性	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。			A		
効率性	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。			B		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。		A		
総括評価	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。			A		
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。						
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要														
事務事業名		小学校児童援助奨励費						部 局		教育委員会				
								課等・班		学校教育課・学務班				
								電話番号		443-1446 内線 2365				
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp				
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた										
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街										
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実										
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		就学における経済的援助				
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
	直接の対象者 (～に対して)		市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者						最終的な受益者		児童の保護者			
	事業目的 (～という状態にするために)		経済的理由により就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。											
	具体的な事業内容 (～を行う)		学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目												
Do 事務事業の実施														
③ 実績・成果	区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
	事業の実績		準要保護児童認定数		人		209		200		223		230	
											(実認定数)			
	事業の効果		準要保護児童認定率		%		6.3		6.2		7.1		7.5	
											(3/31児童数)			
	事業効果に関する外部要因		不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。											
④ 事業コスト	区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
	(最終) 予算額		千円		18,761		19,455		17,659		18,598			
	決算額		千円		16,800		16,352		16,964					
	特定・その他財源()		千円		1,910		1,744		1,704					
	一般財源		千円		14,890		14,608		15,260					
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			扶助費		16,964									

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		
	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。					
有効性	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。					
効率性	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。					
公平性	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。				
総括評価	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B			
			評価者 2	B			
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公正平を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		中学校教育振興費						部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・指導室	
								電話番号	443-1446 内線 2363	
								E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法	
直接の対象者(〜に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒		
事業目的(〜という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。									
具体的な事業内容(〜を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	66	8	13	20		
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上								
		専門的な知識・技能の伝達								
		備品購入(図書)								
	事業効果に関する外部要因	外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	19,053	22,144	22,358	24,383			
	決算額			千円	17,600	21,758	21,872			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	17,600	21,758	21,872				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	92	委託料	4,820	備品購入費	2,826			
		需用費	6,446	使用料及び賃借料	6,230					
		役務費	434	負担金及び補助金	1,024					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。		A			
市の関与は妥当ですか		a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り込むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A				
外部評価									
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校教材備品等購入費						部 局	教育委員会		
								所管課等	学校教育課・学務班		
								電話番号	443-1446	内線 2365	
								E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校設備・備品の充実	
① 事務事業の概要		実施方法						実施根拠	学校教育法		
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()									
		直接の対象者 (～に対して)						最終的な受益者	市内中学校生徒		
		事業目的 (～という状態にするために)						中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。			
		具体的な事業内容 (～を行う)						市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。			
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		教材備品購入学校数	校	4	4	4	4		
		事業の効果		教材備品購入費	千円	1,482	1,471	2,634	1,485		
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。							
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終)予算額		千円	1,485	1,485	2,634	1,485			
		決算額		千円	1,482	1,471	2,634				
		特定・その他財源()		千円							
		一般財源		千円	1,482	1,471	2,634				
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費	2,634						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。	
市の関与は妥当ですか		a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備しており、公平である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						部 局	教育委員会	
								所管課等	学校教育課・学務班	
								電話番号	443-1446	内線 2365
								E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実						
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業 学校設備・備品の充実		
① 事務事業の概要		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法	
直接の対象者 (〜に対して)		市立中学校生徒						最終的な受益者	市立中学校生徒	
事業目的 (〜という状態にするために)		中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
具体的な事業内容 (〜を行う)		市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。								
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施										
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
③ 実績・成果		事業の実績		理科備品現有率	%	77.0	78.1	79.3	80.0	
		事業の効果		理科備品購入費	千円	790	995	1,015	1,020	
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。								
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
④ 事業コスト		(最終)予算額		千円	820	1,020	1,020	1,020		
		決算額		千円	790	995	1,015			
		特定・その他財源()		千円	367	496	497			
		一般財源		千円	423	499	518			
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費		1,015						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由			二次評価		
		必要性	市民からのニーズは高いですか	a		学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。	
必要性	市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A		
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備しており、公平である。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。						
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
事務事業の今後の方向性	学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		中学校生徒援助奨励費						部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・学務班	
								電話番号	443-1446	内線 2365
								E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策		学校教育の充実						
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		就学における経済的援助
① 事務事業の概要		実施方法						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱	
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						最終的な受益者	生徒の保護者	
		直接の対象者(〜に対して)		市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者						
		事業目的(〜という状態にするために)		経済的理由により就学が困難と認められる生徒に必要な教育を受けさせるため。						
		具体的な事業内容(〜を行う)		学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。						
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
③ 実績・成果		事業の実績		準要保護生徒認定数	人	151	115	120	125	
								(実認定数)		
		事業の効果		準要保護児童認定率	%	7.5	6.0	6.6	8.0	
								(3/31生徒数)		
		事業効果に関する外部要因		不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加						
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。						
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
④ 事業コスト		(最終)予算額		千円	19,042	15,231	19,607	21,875		
		決算額		千円	16,882	14,426	19,181			
		特定・その他財源()		千円	1,228	1,410	2,143			
		一般財源		千円	15,654	13,016	17,038			
		29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		扶助費	19,181					

Check 事務事業の評価									
区分		一次評価	判定理由					二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。					A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。					B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。					B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。				B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。					B
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい					評価者 1	B	
							評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公正平を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了							
		教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		学校保健管理費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		学校教育課・学務班	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1446 内線 2367	
		E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp									
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実									
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		健康づくりの推進			
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		学校保健安全法		
	直接の対象者 (～に対して)		幼稚園児・児童・生徒・教職員						最終的な受益者		幼稚園児・児童・生徒・保護者		
	事業目的 (～という状態にするために)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に質する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。										
		具体的な事業内容 (～を行う)		・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目										
D○ 事務事業の実施													
③ 実績・成果			区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断		人	6,941	6,644	6,024	5,743				
		2	環境検査(水質・空気・照度等)		園 学校数	16	16	16	16				
		3	給食補助員の数		人	18	18	18	18				
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療		人	6,941	6,644	6,024	5,743				
		2	学校環境の衛生的な維持		園 学校数	16	16	16	16				
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供		人	18	18	18	18				
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。										
	④ 事業コスト			区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
(最終) 予算額				千円	30,673	31,882	30,556	31,373					
決算額						千円	29,979	31,065	29,959				
		特定・その他財源()				千円							
		一般財源				千円	29,979	31,065	29,959				
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬		8,816	役務費		1,549						
		賃金		10,813	委託料		8,248						
		需用費		470	賃借料		63						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。
市の関与は妥当ですか		a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか		a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。	A
効率性	事業の効率性を高められますか		a	給食補助員については、臨時職員であり、時間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は健診専門機関へ委託。	A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。	A
外部評価					
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。検査対象年齢の見直しを行う。未受診者の事後指導を実施する。また、労働者自身によるストレスへのセルフケアと、事業者によるストレスの要因の低減を目的としたストレスチェック制度を実施する。給食配膳室の衛生管理を徹底する。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		学校保健諸費						部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・学務班	
								電話番号	443-1446	内線 2367
								E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	健康づくりの推進		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校保健安全法		
	直接の対象者(〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事					最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者		
	事業目的(〜という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会)								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	6,113	5,277	4,894	4,676		
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	193	180	178	176		
	事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	475	686	520			
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	193	180	178	176		
		事業効果に関する外部要因								
		事業効果の総合分析(達成できたこと)								
	④事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
(最終)予算額		千円	5,252	5,077	4,857	4,631				
決算額			千円	5,213	5,027	4,805				
		特定・その他財源()	千円	0	0	0				
		一般財源	千円	5,213	5,027	4,805				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		負担金	4,805							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A			
市の関与は妥当ですか		a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。 学校保健会等の健全な運営が図られる。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	B				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A				
外部評価									
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	社会教育振興費 (旧 生涯学習振興費・社会教育総務費・文化振興費)						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	社会教育課・社会教育推進班	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1464	内線		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	shakyo@city.yachimata.lg.jp		
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興				実施根拠	生涯学習推進体制の確立・学習情報の収集と提供・人材バンクの登録と提供・学習機会の充実・家庭教育の支援・芸術文化事業の充実・芸術文化活動団体への支援			
	実施計画	開始	2017	終了	2019		主な計画事業			
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				最終的な受益者	教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則			
	直接の対象者(〜に対して)	市民					市民			
②	事業目的(〜という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展示会等を開催する。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	談話項目	文化施設整備								
		文化ホールの建設								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	1	高齢者学級の実施(自主学級)	学級数	10	9	9	9		
		2	家庭教育学級の実施	学級数	15	15	15	15		
		3	家庭教育講演会の開催	回	1	1	1	1		
		4	社会教育振興大会の開催	回	1	1	1	1		
		5	輝く女性の研修会の開催	回	1	1	1	1		
		6	市民文化祭の実施	回	1	1	1	1		
		7	市民音楽祭の実施	回	1	1	1	1		
	事業の効果	1	高齢者学級開催数	回	66	67	60	65		
		2	家庭教育学級修了者数	人	213	220	193	200		
		3	家庭教育講演会の参加者数	人	350	334	288	300		
		4	社会教育振興大会の参加者数	人	600	280	175	300		
		5	輝く女性の研修会の参加者数	人	240	200	208	250		
		6	市民文化祭の出演・出品者数	人	1,085	1,039	1,047	1,100		
7		市民音楽祭の出演者・来場者数	人	886	980	702	800			
事業効果に関する外部要因		家庭教育学級の学級生数は、児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。各種事業への参加者・団体の固定化や人口減、少子高齢化。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		高齢者学級・家庭教育学級に社会教育指導員・家庭教育指導員が関わることにより、目標に沿った学習計画を立て、充実した内容で学級運営を行うことができた。社会教育振興大会は、予想に反して前年度に比して参加者が減となった。市民文化祭、市民音楽祭、芸術作品展は、市民との協働による事業実施ができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	5,669	6,408	8,854	20,002			
	決算額	特定・その他財源()	千円	93	90	563				
		一般財源	千円	5,368	6,198	7,944				
	29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	3,518	共済費	951	報償費	135		
			需用費	504	役務費	362	委託料	250		
工事請負費			1,944	負担金補助及び交付金	746					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化すると思われる。		A
	市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。なお、市民が主役の事業については協働で開催しており、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	市民の意見を事業に反映させることで事業の充実が図られ、講演会や大会を開催することで市民への学習機会の提供につながっている。また、委員、指導員等の指導・助言により円滑な事業の実施に繋がっており、多数の市民が文化芸術活動に参加している。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	b	専門知識を有する委員、指導員の指導・助言により効率的な事業の実施を図るとともに、ボランティアの活用等により経費の節減を図っている。市民が主役の行事は、協働により多くの事業を実施している。		B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	少子高齢化や家庭教育の重要性が注目されている現代において、社会教育委員や指導員の指導・助言のもと、地域力の向上につながる講演会や講座等を実施することができた。また、市民が主体的に参加できる事業を企画し、市民との協働により各種事業を実施することができた。今後は、参加者の固定化や減少化、会場施設の充実が課題である。		B
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B
				評価者 2	B

Action 今後の事務事業の方向

30年度における取組のPRと方向性	家庭教育の重要性の啓発、社会教育振興大会の充実を図り、市民に社会教育の重要性を訴える。より多くの人に周知し、興味を持ち、事業に参加してもらえよう、市広報、ホームページ、メール配信等の情報媒体を活用したPRを行う。また、優れた文化芸術活動や鑑賞機会の提供を推進する。社会教育施設の今後の在り方について調査する。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
	多岐にわたる市民の学習ニーズに応えるために、より充実した事業を展開や協働による事業の実施を推進する。また、市民文化の向上を図り、文化芸術活動の発表・鑑賞機会への参加を促す。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		青少年健全育成費 (旧 こども110番支援事業費・社会教育施設管理運営費を含む)						部 局		教育委員会		
								課等・班		社会教育課・社会教育推進班		
								電話番号		443-1464 内線		
								E-mail		shakyo@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	青少年の健全育成					地域ぐるみの育成活動・青少年健全育成事業の推進 こども110番事業の支援・青少年犯罪の防止				
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)						実施根拠		社会教育法		
直接の対象者(～に対して)	市民・こども110番推進委員会						最終的な受益者		市民			
事業目的(～という状態にするために)	青少年教育及び啓発活動とおして市民による青少年の健全育成を推進する。 また、子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所の確保する。 さらに、子どもたちの調和のとれた人間形成を図るとともに市民の憩いの場を提供するため、自然体験型の学習機会を提供する。											
具体的な事業内容(～を行う)	青少年教育事業、青少年相談員の委嘱、市民に対する啓発活動等。 協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入による、こども110番事業の支援。 子どもと大人が一緒に行うタケノコ掘り体験施設及び市民に親しまれる施設(憩いの場)とするためのたけのこの里の維持管理。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成									
			青少年の素行改善									
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	2	2	2	2				
		2	放課後子ども教室開設数	教室	2	2	3	4				
		3	通学合宿の実施	回	2	2	2	2				
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1				
		5	こども110番の家協力募集チラシ配布枚	枚	1,163	1,058	1,083	957				
		6	タケノコ掘り体験学習期間の実施日数	日	30	31	23	36				
	事業の効果	1	夏休み交流会の参加者数	人	1,065	1,175	1,413	1,500				
		2	少年少女のつどい大会参加者数	人	50	67	26	50				
		3	放課後子ども教室参加者数	人	158	194	210	230				
4		通学合宿の修了者数	人	37	37	35	40					
5		成人式の参加者数	人	634	626	591	600					
6		こども110番の家協力世帯数	世帯	1,932	1,935	1,940	1,950					
7		タケノコ掘り体験者数	人	341	326	428	300					
事業効果に関する外部要因	少子化に伴う対象者数・参加者数の減少。健全育成事業及び啓発活動の実施に当たっては、青少年相談員やボランティアの協力が不可欠。こども110番事業は、市小中学校PTA連絡協議会による取り組み。 タケノコ掘りの体験学習は、タケノコの生育状況により期間を短縮せざるを得ない場合がある(26～28年度は短縮しなかったが29年度は短かかった)。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校・家庭・地域の連携の下、青少年健全育成事業や啓発活動を実施し、その重要性をアピールできた。 こども110番支援事業では、事件・事故の発生時に子どもが逃げ込める場所を確保するとともに、看板を設置していただくことで、青少年への犯罪に対する抑止効果を発揮している。 たけのこの里体験学習では、子どもを含めたグループ等によるタケノコ掘りにより、自然体験や協力し合う心、親子の恰好のふれあいの場とすることができ、地域教育力や家庭教育力の向上につなげることができた。											
④事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,821	2,654	3,863	5,256					
	決算額			千円	1,658	2,398	3,588					
		特定・その他財源()	千円	206	805	1,233						
		一般財源	千円	1,452	1,593	2,355						
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	989	需用費	572	役員費	167				
			委託料	495	賃借料	159	備品購入費	625				
			負担金補助及び交付金	580								

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		次代を担う青少年を健全に育成することは社会全体が必要としている。児童・生徒を凶悪犯罪から守ることは社会的な課題であり、こども110番の家制度の意義は大きい。たけのこの里は自然体験施設として利用者からは好評である。		
必要性	b	青少年の健全育成は社会的な課題である。学校・家庭・地域の連携を図り、市が各種施策を展開することは妥当である。ただし、たけのこの里の管理運営方法については検討を要する。		B			
有効性	b	青少年教育事業では、子どもたちに様々な体験活動をさせることで、青少年健全育成につながる事ができた。また、こども110番支援事業では、児童・生徒に事件・事故遭遇時に避難できる場所があるという安心感を与えるとともに、犯罪の抑止効果を発揮している。たけのこの里では、体験活動がより豊かな人間性の形成や思考・理解の基盤づくりに役立つと考えるが、立地条件等から特定の市民の利用に限定される。		B			
効率性	b	関係団体の協力を得ながら必要最小限の予算で各種事業を実施している。こども110番支援事業では、市PTA連絡協議会や学校と連携することで事業の効率化を図っている。なお、周知看板の交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。たけのこの里管理費については、委託料の減額に伴い職員による直営作業が増大しているが、時間を割くことが困難になっている。		B			
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	各種事業の周知は全児童・生徒を対象に行い、材料費・保険料等の実費は参加者の負担としている。たけのこの里は立地条件が偏っているが、利用に際しては教育施設(自然体験)として無料が適当と考える。	A			
総括評価	b	青少年を取り巻く環境が大きく変化している現代において、青少年健全育成事業は重要であり、さらなる拡充が求められるとともに時代に対応した各種事業を展開する必要がある。こども110番支援事業では「こども110番の家」の看板を掲げることで地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮するとともに、子どもたちが安心して登下校できる環境を提供しているが、協力世帯の伸び悩みや現状把握が課題である。タケノコ掘りは体験者には好評であるが、体験期間は短いため、体験期間以外の時期の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。		B			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B			
			評価者 2	B			
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識するための啓発運動を実施するとともに、子どもを対象とする各種事業の周知に努める。こども110番支援事業では、各種媒体の活用や新入生がいる世帯にリーフレットを配布し、市民への周知を図る。また、協力世帯増加のための各学校におけるプレートの残数確認や、周知看板の劣化状況確認等を実施する。タケノコ掘り体験期間は放射能検査後、5月の黄金週間までの延長を行う。						
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	青少年健全育成の中核組織となる「八街っ子サポート連絡協議会」を中心に、学校・家庭・地域が連携した事業を展開し、事業の成果の検証を行う。こども110番の家協力世帯を拡充することにより、安全で安心なまちづくりの推進を図る。たけのこの里の維持管理では、職員による作業が増大し、効率性を欠いている。市としての活用方法を検討する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		文化財保護費						部 局		教育委員会			
								課等・班		社会教育課・文化財班			
								電話番号		443-1464 内線 14			
								E-mail		shakyo@city.yachimata.lg.jp			
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱		五の街 めざします！心の豊かさを感じる街									
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		文化財の保護・継承									
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		文化財保護意識啓発活動・指定文化財の拡充			
① 事務事業の概要		実施方法 ■ 直接実施 ■ 業務委託 ■ 補助金交付 ■ 負担金 ■ その他 (文化財ボランティアとの協働事業)						実施根拠		文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外			
直接の対象者 (〜に対して)		①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者						最終的な受益者		市民			
事業目的 (〜という状態にするために)		市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。											
具体的な事業内容 (〜を行う)		○指定文化財等の指定・管理・活用 ○埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) ○各種文化財の保護 ○市指定無形民俗文化財保持者への支援 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ○市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		○指定文化財等の指定・管理・活用 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援									
		・指定文化財(史跡・記念物)に関する管理等に重点を置くよう要望がある。 ・文化財ボランティアの積極的に活用するよう要望がある。											
Do 事務事業の実施													
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
③ 実績・成果		事業の実績		出前講座の実施	回	18	12	11	15				
				文化財保護周知用立看板年間設置数	基	1	0	2	1				
				埋蔵文化財の取扱い(確認等)	件	177	186	166					
		事業の効果		出前講座の年間受講者数	人	581	299	277	300				
				文化財保護周知用立看板の総設置数	基	75	75	76	77				
				各種指定文化財の保存・整備活動数	回	22	21	23	24				
事業効果に関する外部要因		・28年度以降の出前講座の減少については、小学校へ実施していた講座を「出前授業」として資料館が別に実施することとしたため。 ・文化財保護周知用立看板の設置数は2基であるが、1基は経年劣化したものを交換したため、総数は1基増となっている。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		①長年の懸案事項であった過去に実施した埋蔵文化財の発掘調査報告書を刊行できた。 ②文化財の整備として、経年劣化やいたずら等の被害により、修繕を繰り返していた小間子牧野馬捕込跡の木杭柵を擬木柵へ交換設置し、前述被害の減少と景観保全を行うことができた。また、今後実施予定の史跡の測量・発掘調査に向けた環境整備等も実施した。 ③埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。 ④文化財ボランティアは、定期的な活動のみならず、指定史跡や天然記念物の整備や普及、講習会等を実施した上で、文化財ガイド等にも参加していただいた。											
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円	861	1,436	3,734	2,650					
		決算額		特定・その他財源()	千円	614	964	3,354					
				一般財源	千円	614	964	3,354					
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬等	51	負担金補助金	77						
		需用費	947	使用料等	125								
		委託費	536	工事請負費	1,609								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半である。また、郷土の歴史を知り、文化財を保護することは、国民の文化の向上・発展のために必要不可欠であるため業務の必要性は高い。				A	
市の関与は妥当ですか		a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、法・条例に基づく事業に関しては妥当な水準である。文化財保護事業にいたっては、補助金の減額や一事業に対し複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。						
有効性	期待された効果は得られていますか	b	全ての事業成果及び市民からの期待値を数値として表し、把握することは難しいが、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。また、文化財の保存・活用事業においても、ボランティア等の応援を頂きながら整備を実施しており、予算・支出に配慮しながら、上位施策である市民文化の継承に寄与している。				B		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	出前講座・ボランティア活動支援等はわずかな消耗品費以外の支出はない。埋蔵文化財行政における市教委負担についても、本市で実施される事業規模で、国・県の補助金を導入することは、事務的負担や期間的制約が、事業者・教委双方に影響が大きくなり、現在の手法が最も廉価且つ効率的であるといえる。				A		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・本調査費用等、応分の負担をお願いしている。				A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。また、市民の文化財等に関する認知度を向上させるため、各種冊子の利用や出前講座等を実施しているが、引続き継続的な取り組みが必要である。				A		
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい				評価者 1	A	
							評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	・30年度は今後の史跡指定をめざし、史跡の整備等を推進する予定である。また、次年度以降に実施予定である史跡の発掘調査の実施に向けて、地形測量や文化財センター等の関係諸機関と調整を進める。また、今後、5年毎に予定している報告書の刊行に向けて、整理・公開できる体制を整える。 ・文化財班として、課内のみならず郷土資料館と公民館、双方の事業に効果的・効率的な事業(計画)が行えるよう協力して行く。また、文化財ボランティアにガイド等の啓蒙普及活動にも協力いただき、官民の協働で文化財の保護・普及を進める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了							
		・史跡整備及び発掘調査等を実施しながら、指定文化財の拡充を図る。 ・埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めているが、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めていく。また、文化財保護については、市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種講座等の普及活動を充実させ、文化財ボランティア等を活用しながら官民協働での保護意識・体制づくりを推進する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要															
事務事業名		中央公民館管理運営費						部 局		教育委員会					
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						所管課等					
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						課等・班		中央公民館・管理事業班			
		E-mail		c_kominkan@city.yachimata.lg.jp						電話番号		443-3225 内線			
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		社会教育活動の推進						E-mail		c_kominkan@city.yachimata.lg.jp			
実施計画		開始		2017		終了		2019		主な計画事業		中央公民館の学習環境整備			
① 事務事業の概要		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例			
直接の対象者 (〜に対して)		市民						最終的な受益者		市民					
事業目的 (〜という状態にするために)		学術及び文化に関する各種講座、こうみんかん祭等の事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。													
具体的な事業内容 (〜を行う)		学術及び文化に関する各種講座等、こうみんかん祭、ひまわり絵画展の開催。公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。													
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目 施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。											
Do 事務事業の実施															
③ 実績・成果		区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
		事業の実績		1 学術及び文化に関する各種講座の開催		回		18		14		18		20	
				2 こうみんかん祭		回		1		1		1		1	
				3 ひまわり絵画展		回		1		1		1		1	
		事業の効果		1 主催事業参加人数(延べ人数)		人		1,981		1,945		1,633		2,000	
				2 来館者数		人		4,133		4,334		5,672		5,000	
				3 出展者数		人		1,430		1,041		1,166		800	
事業効果に関する外部要因															
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		各種講座の開催により、社会教育の推進という施策の実現に有効な手段となっている。単なる知識学習だけでなく参加者間のコミュニケーションや人間関係を深めることができた。													
④ 事業コスト		区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
		(最終)予算額		千円		17,659		18,819		18,445		25,055			
		決算額				千円		17,107		16,925		18,165			
				特定・その他財源(使用料)		千円		2,529		2,407		2,446			
				一般財源		千円		14,578		14,518		15,719			
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費		657		使用料及び賃借料		1,435							
		需用費		7,235		備品購入費		500							
		委託料		6,998											

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		A
	市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館の目的・事業が示されており、実際に生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を市として行うことは妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。各種講座時のアンケート結果では、受講者の満足度は高いことから期待された効果は得られている。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	各種研修への参加、社会教育主事講習等の受講により職員の専門性を高めて、事業の効率性を高めていくことができる。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館の運営に関する事業計画は公民館運営審議会の意見を聞いて教育委員会が決定している。また、受講者から材料に係る経費は徴収しており、受益者負担としているため適切である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学びを通じた住民相互の出会いと交流、連携を促進し地域社会のコミュニケーションを図る。また、今後とも広報やホームページを利用して主催事業のPRや社会教育関係各課や関係団体との連携を積極的に行い、市民のニーズに応えた各種事業を実施する。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	主催講座開催時に、アンケート調査及び社会教育関係各課や団体等との協議を実施し、市民の社会教育に対するニーズを把握する。市民からの要望やアンケート結果、社会情勢等を考慮しながら次年度の各種事業を計画し、公民館運営審議会の審議により、多くの市民が参加できるような事業展開を行っていく。			
	取り組み方向				
	事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後もより市民のニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館を地域づくりの拠点となるような事業の展開を図っていく必要がある。		

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中央公民館整備事業費(明許繰越分含む)						部 局	教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						所管課等	課等・班	中央公民館・管理事業班	
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							電話番号	443-3225	内線
		E-mail	c_kominkan@city.yachimata.lg.jp									
① 事務事業の概要		具体的施策	社会教育活動の推進									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	中央公民館整備事業				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例				
		直接の対象者(〜に対して)	市民				最終的な受益者	市民				
		事業目的(〜という状態にするために)	社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。									
		具体的な事業内容(〜を行う)	・エレベーター更新工事設計業務 ・空調設備改修工事 ・南棟機械室設備機器撤去等工事(明許繰越分)									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から施設の改修整備要望が出ている。								
Do 事務事業の実施												
		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
③ 実績・成果		事業の実績	1	設計監理業務	件		2	1	1			
			2	施設等改修工事	件	1	2	2	3			
			3									
③ 実績・成果		事業の効果	1	設計監理業務	千円		951	951	1,080			
			2	施設等改修工事	千円	482	31,385	4,087	53,209			
			3									
			4									
		事業効果に関する外部要因										
		事業効果の総合分析(達成できたこと)	工事に伴う設計・監理・工事の事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。									
		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額	千円	482	32,336	5,038	54,289					
④ 事業コスト		決算額		千円	482	32,327	5,038					
			特定・その他財源(使用料)	千円		24,668						
			一般財源	千円	482	7,659	5,038					
		29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	委託料	951	工事請負費	1,164	工事請負費(明許繰越分)	2,923				

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	市内唯一の公民館として市民の生活文化振興上、必要不可欠である。
市の関与は妥当ですか		a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
有効性	期待された効果は得られていますか		a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。	A
効率性	事業の効率性を高められますか		a	施設の老朽化は進んでいるが、計画的に施設を改修することにより事業の効率性を高めることができる。	A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にあるが、老朽化した施設補修に関し緊急性の高いものから計画的に改修を実施している。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		b	中央公民館は、開館から38年(昭和54年11月)余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。	A
外部評価					
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	30年度における取組のPRと方向性	市民が公民館を安全に安心して利用できる環境整備とサービスの提供を確保する。			
	取り組み方向				
	事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	開館から38年余り経過し施設設備の老朽化が著しく整備計画の見直しを図る。なお、早期の改修が望ましいことから事業を拡充していく必要がある。		

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)						部 局	教育委員会	
								課等・班	図書館・管理班	
								電話番号	444-4946	内線
								E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	図書館機能の充実		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者					最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者		
	事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・臨時職員の雇用：図書装架、配架、返却などの事務補助 ・業務委託：清掃、警備、電気工作物保安管理、消防設備保守点検、空調設備保守点検業務など ・機器の賃借、使用：複写機、トイレ洗浄・静除システムの賃借、書誌データなどの使用 ・施設、設備等の修繕 ・図書館協議会								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
		足が不自由な方が2階施設に上がれる設備の設置要望及び老朽化した施設への改善要望が多数寄せられている。								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	1	臨時職員雇用人数	人	8	10	11	11		
		2	各種業務委託件数	件	11	9	11	11		
		3	各機器等の賃借・使用件数	件	5	5	6	7		
		4	施設、設備の修繕件数	件	3	3	4	3		
		5	図書館協議会	回	2	2	3	2		
	事業の効果									
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	臨時職員の雇用や施設、設備の維持管理などにより、安心・安全な環境のもとで、利用者に対して迅速なサービスを提供することができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	27,165	32,562	31,279	35,220			
	決算額		千円	26,747	32,562	31,108				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	26,747	32,562	31,108				
	29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	賃金	8,786	その他	9,116					
		委託料	6,460							
		使用料及び賃借料	6,746							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館サービスの提供にあたっては、安全・安心な環境の中で、迅速に対応できるよう求められている。		A			
市の関与は妥当ですか		a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	図書館運営について、概ね期待通りの成果を得られている。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、維持管理に努めている。また、祝日開館の実施に伴い、それまで職員で行っていた夜間開館をシルバー人材センターに業務委託することにより、職員を効率よく各種事業に配置することができ、事務環境及び事業効率を高めることができた。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に問題はないが、公の財産に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めている。今後も、社会情勢を鑑みながら対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を適宜検討する必要がある。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点に立ったサービスを提供した。		A				
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	今年度も生涯学習施設として適切な環境整備と利用者に対する迅速なサービスの提供を確保する。また、平成31年度に空調設備の更新工事を行えるよう、空調設備更新工事設計を滞りなく進めたい。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		経年劣化に伴い修繕箇所が多くなると思われるが財政状況を考慮しながら、今後も図書館としての快適な環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能の充実を図る。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部 局		教育委員会	
								課等・班		図書館・奉仕班	
								電話番号		444-4946 内線	
								E-mail		toshokan@city.vachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		図書館機能の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者		市民及び市内在勤・在学者	
	事業目的(〜という状態にするために)	地域の情報拠点として、市民誰もが等しく図書館サービスを受けることができる事業の展開により、読書活動の推進を図る。また、子どもの読書活動推進計画”育て八街っ子”読書計画に基づき、子どもの読書環境の整備を図る。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	地域の実情および、市民の要望を考慮し、市民の必要とする資料を提供するために資料の計画的な収集と充実を図る。さらに、これらの資料を市民が効率的に活用できるように、資料の検索と調査研究の援助を行う。仕事での図書館利用を促進し、市民の自主的なビジネス学習を支援する。ビジネス支援に関する、判例データベースを活用した講座を企画する。市民の図書館利用の促進を図るために図書館内ではなし会、映画会、ライブラリーカフェなどの集会事業を実施する。図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や子どもなどの交通弱者のために、移動図書館事業を行い、さらに、地域の読書活動を支援するために地域の団体や学校等の求めに応じ司書を派遣する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
		まちづくり等地域振興の活動をする利用者から、公衆無線LANや電源を確保したいという要望がある。また、新聞、雑誌、CDの新規購入希望がある。									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	1	図書購入冊数	冊	6,898	6,586	6,620	7,200			
		2	おはなし会の開催数	回	79	70	81	84			
		3	講座、映画会の開催数	回	113	120	132	230			
		4	図書館ホームページの更新数	回	64	89	97	100			
	事業の効果	1	図書貸出冊数	冊	316,394	321,163	296,882	306,000			
		2	おはなし会の参加者数	人	975	914	1,055	1,100			
		3	講座、映画会の参加者数	人	1,530	1,290	1,508	2,000			
		4	司書派遣事業参加者数	人	1,477	1,978	2,496	2,500			
		5	図書館ホームページの閲覧数	回	54,109	41,308	41,740	43,000			
	事業効果に関する外部要因	人口の減少と市民の行動が多様化し、分散化している。行動時間や行動の選択肢が増えている。共働き世帯が多く、子どもと過ごす時間が減少している中、本で読書をする人や時間の比率が減少している。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	図書館内外でのおはなし会、講座や映画会などは、実施日を増やしたり新規講座を実施することにより、参加者増となった。司書派遣事業は、保育園等との連携により参加者数の増につながった。また、ホームページの更新回数を増やしたことにより、閲覧数増加が達成できたと思われる。									
④ 事業コスト			単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
			千円	11,875	11,907	11,769	13,322				
	決算額		千円	11,875	11,907	11,732					
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円	11,875	11,907	11,732					
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		図書購入費	10,134	消耗品費	1,292						
		報酬	67	食糧費	10						
		旅費	22	通信運搬費	207						

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の誰もが気軽に利用できる、「情報収集」と「生涯学習」の拠点として、資料の貸出のみならず、多様な事業を展開しており、市民のニーズは高い。		A	
市の関与は妥当ですか		a	広く市民の生涯学習を支える教育施設としての図書館は今後、市民の「情報格差」是正を担う施設として重要性を増しており、市の関与は妥当である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	乳幼児から高齢者までを対象として、読書活動や読書活動の推進に資する事業のほか、学校への団体貸出により読書支援に寄与した。また、映画会やライブラリーカフェなど市民が気軽に集える拠点としての事業も展開し、図書館に新たに足を向ける市民が増加した。		A		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な執行を図っている。		A		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない(図書館法第17条)	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	様々な外部連携や新規事業の実施や祝日開館をすることにより、来館者は増加したが、資料の貸出数の増加にはつながらなかった。今後は事業に合わせた資料の展示や、市民の求める資料を探す手助けを強化し、貸出数の増加を視野に入れながら、さらに、様々な情報の提供や事業展開により、市民に期待される図書館を目指したい。		A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A	
					評価者 2	A	
⑥							
30年度における取組のPRと方向性	映画会回数の増加と上映内容の一新、ビジネス支援のための新規事業の実施、認知症の情報コーナーの設置と資料の充実を図り、幅広い年齢層の集客のために配信メールや各戸回覧等あらゆるPR方法により周知し、図書館利用の増加を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として位置づけられており、生涯学習を支える拠点として重要な教育施設である。今後も「情報収集と発信」と「生涯学習の拠点として、各団体と連携を深めながら、市民協働のもと、多様な事業を展開するとともに、事業内容・質の向上を図っていきたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		視聴覚教材センター管理運営費及び視聴覚教材整備費 (平成30年度からは視聴覚教材費)						部 局		教育委員会	
								所管課等		図書館・管理班	
								電話番号		444-4946 内線	
								E-mail		toshokan@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		社会教育活動の推進							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		図書館機能の充実	
① 事務事業の概要		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
		直接の対象者 (〜に対して)						最終的な受益者		市民	
		事業目的 (〜という状態にするために)									
		視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。									
		具体的な事業内容 (〜を行う)									
		・視聴覚教材センター委員会会議の開催 ・視聴覚教材目録の作成 ・視聴覚機材・教材の購入整備及び維持管理									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等									
		該当項目									
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		視聴覚教材センター委員会会議	回	2	2	2	-		
				機材の購入	台	0	1	3	3		
				教材の購入	本	7	4	4	4		
		事業の効果		機材貸出件数	件	360	402	366	370		
				教材貸出件数	件	55	77	40	50		
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)									
		視聴覚機材・教材の維持管理、貸出、目録作成等により視聴覚教育の推進を図れた。									
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終) 予算額		千円	448	376	308	355			
		決算額		千円	447	340	308				
				特定・その他財源()	千円						
				一般財源	千円	447	340	308			
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	16						
				需用費	25						
				備品購入費	267						

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	市民からのニーズは高いですか	
	市の関与は妥当ですか	b	市所有の機材・教材であるため。	
有効性	期待された効果は得られていますか	b	視聴覚教材・機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるため。	B
効率性	事業の効率性を高められますか	b	事務事業の見直し、改善により経費の削減に努めているため。	B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題はない。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	利用団体等の要望を維持するため、事業の必要性を認め、図書館業務として事業を継続していく。	B
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B
			評価者 2	B
Action 今後の事務事業の方向				
30年度における取組のPRと方向性	事業を図書館に統合し、引き続き魅力ある視聴覚機材及び教材の貸出及び管理運営に努める。			
	取り組み方向			
事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
	平成30年度から、視聴覚教材に係る業務を図書館業務の一部として統合し、従来の事務事業を維持する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		郷土資料館管理運営費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		郷土資料館	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1726 内線	
		具体的施策		文化財の保護・継承						E-mail		kyodo@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		郷土資料館の充実			
		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例	
直接の対象者(〜に対して)		市民のみならず、来館される全ての方々						最終的な受益者		市民及び来館者			
事業目的(〜という状態にするために)		市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まること、そして調査・研究に寄与することを目的とする。											
具体的な事業内容(〜を行う)		<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の開催 ・企画展示の開催 ・体験参加型の展示 ・映像展示の実施 ・図書閲覧コーナーの充実 											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		談話項目		郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から									
		・決して大きな博物館ではないが、大きさが全てでは無い。しっかりとしたコンセプトを持ち、その下でしっかりと調査・研究がなされ、正解にまっすぐな表現をしていけば、必ずや訪れた人に感動を与えるであろう。今後の研究・展示に大いに期待しています。頑張ってください。 ・博物館施設として市が力を入れていないことが悔しい。こうした大事な歴史の宝を後世に残せるよう、建物設備を整備していただきたい。											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		事業の実績		企画展の開催数		回	1	1	1	1			
				郷土資料館の団体見学		回	7	5	7	7			
				市内各学校への出前授業		回	3	4	7	7			
		事業の効果		年間の来館者数		人	3,575	3,396	3,080	3,234(5%増)			
				企画展開催中の来館者数		人	1,216	1,381	1,046	1,067(2%増)			
				郷土資料館の団体見学者数		人	329	57	294	294			
出前授業の参加者数				人	181	324	296	296					
事業効果に関する外部要因		29年度における年間来館者数の減少は、郷土資料館の床工事により9月から10月まで2ヶ月間休館したため。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		2月から開催した企画展では、八街南部の開墾をテーマに選んだことで、従前まで来館者の少なかった八街南部地域から非常に多くの人々に来ていただき、新たな来館者を獲得することが出来た。その他にも、市内のみならず市外・県外の方からも来館していただいたことで、開館日数34日(前年度比18日減)で、昨年度目標値の916人をを超える1,046人となった。											
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円	2,336	2,636	6,535	2,982					
		決算額		特定・その他財源()		千円	2,316	2,600	6,463				
				一般財源		千円	2,316	2,600	6,463				
		29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	1,244	役員費	178	工事請負費	2,878				
		旅費	7	委託料	1,296	備品購入費	235						
		需要費	447	使用料	173	負担金	5						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	郷土の歴史について知りたいという方が増え、リピーターも年々増えつつある。最近では、子どもたちが放課後や長期休暇中に体験コーナーを多く利用するため、子どもの居場所づくりとしての機能もある。		A			
市の関与は妥当ですか		b	八街の歴史を多くの方々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示に反映できるので妥当と思われる。その他にも蓄積した情報を、広く提供できることから妥当である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	企画展を開催し、常設展示の内容も年々改変させることにより、市民の方に繰り返し来館いただき、市民の八街の歴史に対する認識は深まりつつある。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	来館者に満足していただけるよう、限られた予算の中で展示方法などに常に工夫をしている。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	近年、企画展の来館者数は上昇し続けており、家族連れで来館されることが多く、市外・県外からの来館者も増えつつある。また、体験コーナーでは、リピーターとなる子どもたちも多く、市民のふるさと意識を深めていくための環境が整いつつある。来館者の増加に比例して、設備不備や施設老朽化に対する声が増えている。喫緊の課題として、施設自体を建て直す必要がある。		A				
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	今年度は、縄文時代について企画展示を行う予定である。 自らの住む地域の歴史について認識を深めてもらうために、展示方法や内容、施設環境等の整備を行う必要がある。 外部発信の取り組みとして、HP内郷土資料館ページ内を整備する必要がある。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		今まで八街の歴史に興味のなかった方にも郷土資料館について知っていただくため、展示内容に工夫を凝らし、今以上に展示内容を充実していく必要がある。また、市内外・県外からの来館者数を増加させるためには、今まで以上の外部発信が必要であり、市HP内の郷土資料館部分を充実させていく必要がある。 その他、展示する資料を適切に保存していくための収蔵庫の不備や、建物設備の老朽化は、早急に建て替え等の対処をしていく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		市史編さん費						部 局		教育委員会	
								課等・班		郷土資料館	
								電話番号		443-1726 内線	
								E-mail		kyodo@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	文化財の保護・継承								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		市史編さん事業		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公文書館法・公文書等の管理に関する法律 八街市史編さん委員会条例	
直接の対象者(〜に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々						最終的な受益者		市民、八街の歴史に興味のある方々		
事業目的(〜という状態にするために)	八街の歴史を調査研究し後世に歴史的遺産を伝えるため。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・八街市史編さん委員会 ・八街市史編さん委員会 近世専門部会 ・八街市史編さん委員会 近現代専門部会 ・八街市史関連の図書の刊行										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から								
	・郷土の歴史を分かりやすく説明している。近代には展示品に親しみやすい工夫がなされていてとても興味深い。 ・イメージ作りがとても良く、分かりやすい。 ・年々、内容・質ともに整いつつ、市関係者の努力の心が伝わる。										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	2	1	2	2			
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	1			
		近現代専門部会開催日数		日	2	3	1	1			
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	4	2	2	2			
		近世専門部会委員のべ活動日数		日	79	46	37	45			
		近現代専門部会委員のべ活動日数		日	55	99	74	45			
事業効果に関する外部要因	活動日数の全体的な減少は、専門委員の単価を12,000円から13,000円へ引き上げ、協力員の日数割合を増加させた事によるもの。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	近世専門部会では平成21年度に「八街市史資料編近世二」を刊行し、現在は「八街市史資料編近世三」の刊行に向けて八街市内の古文書調査を進めている。昨年度は、法宣寺の換下貼り文書の取り剥がし作業が完了した。また、近現代専門部会は八街開墾関係の古文書調査を行い「八街市史資料編近現代一」の刊行に向けて作業を進めている。昨年度は、大関区有文書の調査を中心に進めている。										
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	29年度(目標)				
	(最終) 予算額		千円	2,844	3,299	2,546	2,643				
	決算額			千円	2,620	3,053	2,378				
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源		千円	2,620	3,053	2,378					
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	46	役員費	675						
		報償費	1,340	負担金	8						
		需要費	309								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	市内から新たに発見された古文書等について調査研究が進めば、さらに市民のニーズが高まると思われる。	
市の関与は妥当ですか		b	市の歴史を明らかにする作業であるため、直営で実施すべきである。			
有効性	期待された効果は得られていますか		a	平成23年度に「函解八街の歴史」を刊行し、幅広い世代・年齢層の方に八街の歴史について知っていただいた。これは郷土資料館の来館者数の増加の要因の1つといえる。		A
効率性	事業の効率性を高められますか		a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、作業を続ける必要がある。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	年々、市史編さんの対象となる調査研究が進展していることで、八街市に関する史実の発掘が広がりつつあり、今後も継続的な取り組みが必要であるが、さらなる調査結果の深化と刊行スピードをあげるためには、全体的に予算不足である。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	30年度における取組のPRと方向性	昨年度に引き続き、近世専門部会では、『八街市史 資料編 近世三』の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、『八街市史 資料編 近現代一』の刊行に向け調査研究を進める。その他、各部会『資料編』で必要となる市内所蔵資料について、悉皆調査を進めていく。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		『八街市史 資料編』の刊行に必要な郷土資料館収蔵資料の内、整理目録化が進んでいない資料群があり、それらを整理するには現状よりも活動日数の増加が必要と考える。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		八街市ピーナッツ駅伝大会運営費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		スポーツ振興課・振興班	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感ずる街						電話番号		443-1465 内線	
		E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp									
① 事務事業の概要		具体的施策		生涯スポーツの推進						実施根拠		スポーツ基本法	
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		スポーツ基本法			
直接の対象者 (〜に対して)		市民						最終的な受益者		市民			
事業目的 (〜という状態にするために)		冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進と体力の向上及びランニングについての関心を高める。走る楽しさや喜びと共に地域融和の発展を図る。											
具体的な事業内容 (〜を行う)		駅伝大会の実施。 ・一般の部(5区間、21.00km)・高校の部(5区間、21.00km)・中学男子の部(8区間、21.00km) ・中学女子の部(5区間、12.35km)・女子の部(5区間、12.35km)・オープン部の部(5区間、21.00km)											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
③ 実績・成果		事業の実績		八街市ピーナッツ駅伝大会	回	1	1	1	1				
		事業の効果		八街市ピーナッツ駅伝大会参加者数	人	442	441	404	460				
				八街市ピーナッツ駅伝大会参加チーム	チーム	75	71	66	80				
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進及び体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図った。平成29年度において、第61回となっている。											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円	826	851	907	944					
④ 事業コスト		決算額		千円	767	790	830						
		特定・その他財源()		千円									
		一般財源		千円	767	790	830						
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費		266									
		役務費		51									
		使用料及び賃借料		513									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	生涯スポーツ推進に対し市民のニーズはたかまっており、参加者数の推移からも必要である。		A		
市の関与は妥当ですか		a	市主催の冬季最大の行事であり、平成29年度で61回となり妥当であるとする。						
有効性	期待された効果は得られていますか		a	平成29年度で第61回の歴史があり、高校及びオープン部の参加チームの増加等からも有効である。		A			
効率性	事業の効率性を高められますか		a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討し、実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。		A			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	5部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定や障害者の参加受け入れ体制等公平性に問題はない。	A			
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応えていく。		A			
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
					評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報やホームページ等によりPRを実施。また、八街の特産品の落花生とキャロットジュースのPRについても更なる検討をしていきたい。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		冬季スポーツ行事として最大のイベントであり、継続して実施していく。コース等の見直しなど、現状を把握し、各関係団体の協力を得て、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		学校開放推進費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		スポーツ振興課・振興班	
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1465 内線	
		E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp									
① 事務事業の概要		具体的施策		生涯スポーツの推進						実施根拠		スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則	
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		運動を通じた健康づくりの支援			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠					
直接の対象者 (〜に対して)		市民						最終的な受益者		市民			
事業目的 (〜という状態にするために)		八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。											
具体的な事業内容 (〜を行う)		市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		事業の実績		学校施設開放(屋内運動場)	施設	16	16	16	16				
				学校施設開放(屋外運動場)	施設	12	13	13	13				
				プール開放(八街北中学校、八街南中学校)	施設	2	2	2	2				
		事業の効果		学校開放利用者(屋内運動場)	人	169,800	170,184	170,349	172,000				
				学校開放利用者(屋外運動場)	人	41,421	38,645	33,748	38,000				
				プール開放利用者(実人数)	人	1,251	849	866	1,000				
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析(達成できたこと)		八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。											
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
		(最終)予算額		千円		3,371	3,487	3,525	3,496				
		決算額				千円	3,266	3,351	3,430				
				特定・その他財源()		千円							
				一般財源		千円	3,266	3,351	3,430				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	3	委託料	3,175								
		役員費	24	賃借料	215								
		報償費	13										

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の生涯スポーツの普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。		A		
	市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。		A		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。また、管理については、平成25年度遊び場開放指導員の報償費廃止、更にプール開放については、引き続き入札を行って効率を図った。		A		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、耐震工事による利用停止など団体の利用箇所に制限がされる。		A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、学校だより等による広報を依頼。今後においてもPRに努める。プール開放については現在、広報紙・ホームページやポスター等により市民に周知しておりますが、更に学校関係等にチラシを配付する等周知徹底する必要がある。						
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握、整理し、効率を図ることが必要である。また、学校プール開放については、利用状況を精査し、効率のよい利用方法を更に検討する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	保健体育総務費								部 局	教育委員会			
										課等・班	スポーツ振興課・振興班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1465	内線	
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進										
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()							実施根拠	八街市スポーツ推進審議会条例 八街市スポーツ推進委員に関する規則				
直接の対象者(～に対して)	スポーツ関係者							最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	市のスポーツ推進を図るため、指導者の育成推進等												
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会委員、スポーツ推進委員報酬 ・印旛郡市体育協会負担金支出等 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出等 												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)						
	事業の実績	スポーツ推進審議会会議	回	0	0	0	1						
		スポーツ推進委員会会議	回	7	6	5	5						
		スポーツ推進委員活動	回	51	56	68	68						
	事業の効果	スポーツ推進審議会会議	回	0	0	0	1						
		スポーツ推進委員活動	回	51	56	68	68						
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。 ・スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問に応じスポーツ推進の重要事項について、調査審議し、教育委員会へ建議している。 ・スポーツ推進委員については、市民体育祭をはじめとする各種大会等において、競技役員として活躍している。 また、ノルディック・ウォークをはじめとしたニュースポーツの推進や体験教室などの各種教室等で講師として活躍している。 										
	④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)					
(最終)予算額		千円	4,523	4,592	4,336	4,487							
決算額		特定・その他財源()	千円	4,175	4,103	3,954							
		一般財源	千円	4,175	4,103	3,954							
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	532	役員費	48								
		賃金	2,016	賃借料	150								
		需用費	298	負担金及び補助金	887								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ推進に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ推進の重要施策を調査審議・決定するスポーツ推進審議会会議、各行事等役員に関わるスポーツ推進委員会は、市民の生活に直接関係があり、スポーツ振興や健康づくり等のためにも必要である。		A			
市の関与は妥当ですか		a	法に基づき市スポーツ推進の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ推進委員会会議5回実施した。本市スポーツ推進に係る基本的経費となっている。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ推進審議会会議については、必要時に招集し審議を行っている。臨時職員を雇用・活用し業務を行っている。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	スポーツ推進審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ推進、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ推進審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。また、市民のニーズにあった健康づくり等、スポーツの推進、振興を遂行していく。		A				
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツ推進委員会等の各種団体の意見を収集し、今後のスポーツの推進に役立てていく。また、現状を把握し、スポーツ推進委員等のマンパワーを活用し、本市のスポーツ推進を図っていく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		スポーツ推進審議会は、市スポーツ推進の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進や運動を通した健康づくりの支援等についても、さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ推進を図っていくことが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		体育振興費						部 局		教育委員会	
								課等・班		スポーツ振興課・振興班	
								電話番号		443-1465 内線	
								E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		生涯スポーツの推進							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		スポーツイベントの開催	
① 事務事業の概要		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		スポーツ基本法 各種大会開催経費等	
直接の対象者 (〜に対して)		市民						最終的な受益者		市民	
事業目的 (〜という状態にするために)		各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。									
具体的な事業内容 (〜を行う)		市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(5月)、近隣中学校交流野球大会(6月)、スポーツレクリエーション祭(8～翌年3月)、少年野球教室(12月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、ロードレース大会(2月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・家庭婦人バレーボール連盟									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
事業の実績		市民ゴルフ大会		回	1	1	1	1			
		市スポーツ・レクリエーション祭		回	6	6	6	6			
		少年野球教室、市ロードレース大会		回	各1	各1	各1	各1			
事業の効果		市民ゴルフ大会		人	153	124	132	140			
		市スポーツ・レクリエーション祭(インディカ、グランドゴルフ、パークゴルフ等)		人	394	447	419	450			
		少年野球教室		人	105	95	91	120			
		市ロードレース大会		人	392	340	349	1,000			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		平成29年度において、市民ゴルフ大会(34回)、少年野球教室(40回)、市ロードレース大会(40回)と、市民に定着している事業となっている。									
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
(最終) 予算額				千円	3,659	4,089	3,637	3,791			
決算額				千円	3,568	3,990	3,545				
		特定・その他財源()		千円	(スポーツ振興助成金)	200					
		一般財源		千円	3,568	3,790	3,545				
29度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費		195	補助金		2,745				
		需用費		475							
		役務費		130							
④ 事業コスト											

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、市民の生涯スポーツの推進への貢献が大きいため必要である。		A			
市の関与は妥当ですか		a	市主催事業として、妥当であるとする。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも有効と考えられる。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	各事業前の関係団体等との打合せや実施後反省会等により翌年度の事業前に念入りに協議を行い、毎年実施につないでいる。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	市広報紙やホームページにより市全体に啓蒙を図っているため、公平性は保たれている。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を実施し、前回の反省等協議を行い毎年実施している。今後、更に市民のニーズに応じていく。		A				
外部評価									
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	各関係機関及び団体との会議等の場や市広報紙・ホームページの活用によりPRに努める。また、各団体との信頼並びに協力体制の強化							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興とスポーツを通しての健康づくりに必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		郡市民体育大会運営費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	スポーツ振興課・振興班	
									電話番号	443-1465 内線	
								E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法		
直接の対象者(〜に対して)	印旛郡市民						最終的な受益者	印旛郡市民			
事業目的(〜という状態にするために)	印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	印旛郡市8市町、印旛郡市各市町教育委員会及び印旛郡市体育協会の主催で、毎年開催されている。平成29年度八街市は、柔道(八街中武道場)と弓道(八街市スポーツプラザ)が会場となり開催。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	印旛郡市民大会		回	1	1	1	1			
	事業の効果	印旛郡市民体育大会(八街市延参加者)		人	292	328	309	330			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図った。平成29年度で第68回の歴史がある。									
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	50	116	77	53				
	決算額			千円	29	96	44				
		特定・その他財源()		千円							
	29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費		26						
		備品購入費		18							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。印旛郡市全域より集まる印旛郡市最大のスポーツ行事となっている。	A			
市の関与は妥当ですか		a	印旛郡市の応分の負担として妥当である。						
有効性	期待された効果は得られていますか		a	平成29年度で第68回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。	A				
効率性	事業の効率性を高められますか		a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行い、効率性を高めてきている。	A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市体育協会各専門部等により、選考会等開催し推薦により、選手を決定している。公平性に問題はない。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	毎年度、前回の反省点を検証し次回の大会を実施し今日に至っている。今後、さらに印旛郡市民との振興を図っている。	A				
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
					評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	30年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報紙等によりPRに努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		印旛郡市民との交流を図り、体力向上とスポーツの普及を図るため継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		体育施設維持管理費						部 局	教育委員会	
								所管課等	課等・班	
									スポーツ振興課・振興班	
								電話番号	443-1465	内線
								E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例	
	直接の対象者(〜に対して)	社会体育施設(市営運動場)					最終的な受益者	市民		
	事業目的(〜という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・(市営運動場、ゲートボール場、グランドゴルフ場)								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	グラウンド等光熱水費	千円	4,713	4,563	4,872	4,563			
		グラウンド等土地賃借料	千円	14,406	14,299	14,210	14,214			
		グラウンド等施設保守管理委託料	千円	6,392	7,720	6,688	7,614			
	事業の効果	社会体育施設利用状況	人	71,359	80,782	75,482	80,000			
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場)								
		社会体育施設使用料	千円	710	759	709	759			
		事業効果に関する外部要因								
		事業効果の総合分析(達成できたこと)	社会体育施設を維持管理し、市民等が安全に利用できるよう努め、心身の健康と生涯スポーツの推進に寄与した。							
	④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
(最終)予算額		千円	27,119	28,723	28,500	29,565				
決算額			千円	26,550	27,819	28,216				
		特定・その他財源()	千円	710	759	709				
		一般財源	千円	25,840	27,060	27,507				
		29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費	5,434	使用料及び賃借料	14,210				
		役員費	219	工事請負費	1,571					
		委託料	6,688	原材料費他	94					

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	二次評価					
		必要性	市民からのニーズは高いですか	a	社会体育施設管理の適正な維持管理は利用者の安全を保っている。	A	
必要性	市の関与は妥当ですか	a	社会体育施設の老朽化により、市の維持管理は不可欠である。	A			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。	A			
効率性	事業の効率性を高められますか	a	保守など委託契約については、入札等により業者の選定を図ることにより効率的に維持管理している。	A			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 緊急性・安全性を考慮し、順位を決め実施することにより公平に実施している。	A			
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設管理等重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。市民が安全に生涯スポーツを行っていけるよう各施設の状況を把握、管理していかなければならない。	A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A				
		評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	通常維持管理の他、榎戸サッカー場防球ネット補修工事など安全管理及び施設の維持管理に努める。						
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	社会体育施設の維持管理は老朽化等により継続して実施していかなければならない。さらに状況を把握し、危険性及び緊急性から修繕等優先順位を決め、維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画、要望していく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		体育施設整備事業費						部 局	教育委員会	所管課等
								課等・班	スポーツ振興課・振興班	
								電話番号	443-1465	内線
								E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例	
	直接の対象者(〜に対して)	社会体育施設(市営運動場)					最終的な受益者	市民		
	事業目的(〜という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・榎戸サッカー場トイレ設置工事								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	事業の実績	工事請負件数	件		3	1	0			
	事業の効果	施設設備の改修工事等の実施	千円		12,040	1,294	0			
		事業効果に関する外部要因								
		事業効果の総合分析(達成できたこと)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。							
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	0	12,201	1,333	0			
	決算額		千円	0	12,040	1,294				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	0	12,040	1,294				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費 1,294								

Check 事務事業の評価										
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設設備の老朽化や市民の要望も多い。				A	
市の関与は妥当ですか		a	老朽化により、市の維持管理は不可欠である。							
有効性	期待された効果は得られていますか		a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。				A		
効率性	事業の効率性を高められますか		a	入札等により効率的に実施している。				A		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各施設が安全に利用できるように、公平に実施している。			A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。更に市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう実施している。				A		
外部評価										
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい				評価者 1		A	
							評価者 2		A	
Action 今後の事務事業の方向										
⑥	30年度における取組のPRと方向性									
	事務事業の今後の方向性		取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了							
		社会体育施設(市営グラウンド)の老朽化により維持管理は継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、危険性及び緊急性から工事等の優先順位を決め要求に努め、適正に維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画・要望していく必要がある。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要														
事務事業名		スポーツプラザ管理運営費						部 局		教育委員会				
								所管課等		課等・班				
								電話番号		443-8003 内線				
								E-mail		sports_plaza@city.yachimata.lg.jp				
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた										
		施策の大綱		五の街 めざましす！心の豊かさを感じる街										
(八街市総合計画) 2015		具体的施策		生涯スポーツの推進										
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		スポーツ施設の充実				
① 事務事業の概要	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)		市民						最終的な受益者		市民			
	事業目的 (～という状態にするために)		施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。主として当施設の運営及び設備の維持・管理を適切に行うことによりスポーツ施設としての水準を維持することを目的とする。											
具体的な事業内容 (～を行う)		スポーツプラザ各種施設(体育館・テニスコート等)の運営及び清掃・警備・夜間の施設管理などの業務委託並びに老朽箇所の修繕、乗用草刈機の購入を行った。												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施														
③ 実績・成果	区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)			
	事業の実績		委託関係		千円		9,396		12,279		9,870		11,177	
			修繕関係		千円		434		734		1,537		758	
	事業の効果		施設の安全性を維持した											
			施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した											
			施設利用件数		件		8,223		7,912		8,251		8,129	
			施設利用人数		人		119,852		115,944		121,984		119,260	
	事業効果に関する外部要因													
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		おおむねサービス提供はできている。しかしながら、経年劣化による大規模な修繕箇所が増加しており、将来的なサービス提供の低下は避けられないと考える。また、卓球台やバスケットゴール・トレーニング器具などの備品や、バレーボール・バドミントン等のネットなどの消耗品も劣化が著しいため、随時入替が必要である。											
	④ 事業コスト	区分		単位		27年度		28年度		29年度		30年度(目標)		
(最終)予算額		千円		25,308		29,195		25,576		25,976				
決算額				千円		23,699		27,097		24,584				
		特定・その他財源()		千円		6,238		5,774		5,878				
		一般財源		千円		17,461		21,323		18,706				
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		賃金		2,820		委託料		9,870						
		需用費		7,242		使用料及び賃借料		3,412						
		役務費		543		備品購入費		690						

Check 事務事業の評価						
	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	個人・団体からの問合せや予約も多いことから、市民からのニーズは高い。	A
市の関与は妥当ですか			a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。		
有効性		期待された効果は得られていますか	b	各施設の利用状況については微増微減はあるものの、概ね成果は得られている。	A	
効率性		事業の効率性を高められますか	a	現在の状況を鑑みると、効率向上・コスト低減の余地はない。前述のとおり経年劣化が著しく、大規模修繕等が必須である。	A	
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A	
総括評価		総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、効率的な施設の維持管理を実施している	A	
外部評価						
	評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
	30年度における取組のPRと方向性					
⑥	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	現在は部分的な改修に留まっているが、竣工後20年以上経過しているため大規模な修繕が必要であり、それにより将来的な維持管理費の抑制が計られる。 また、各種競技等に使用する備品関係においても、随時入替を行い、良好なサービス提供を図っていく。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		スポーツプラザ整備事業費						部 局	教育委員会	
								課等・班	スポーツプラザ・管理班	
								電話番号	443-8003 内線	
								E-mail	sports plaza@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画) 2015		具体的施策	生涯スポーツの推進							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実		
① 事務事業の概要		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例	
		直接の対象者 (～に対して)	市民					最終的な受益者	市民	
		事業目的 (～という状態にするために)	主として社会体育施設としての水準を維持するために必要な改修等を行うことを目的とする。							
		具体的な事業内容 (～を行う)	多目的広場からテニスコート、調整池周辺の外灯29基を水銀灯からLEDへの改修工事を行った。外灯工事に伴う実施設計、監理業務を行った。(事故繰越案件) メインアリーナの移動式バスケットゴール(4基)改修工事を行った。							
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
③ 実績・成果		事業の実績	スポーツプラザ外灯実施設計業務		千円		497	0		
			スポーツプラザバスケットゴール改修工事		千円		1,602			
					千円					
		事業の効果	施設の安全性を維持した							
			施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した							
		事業効果に関する外部要因								
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)	移動式バスケットゴール(4基)改修し利用者の利便性の向上が図れた。 但し、体育館アリーナ床改修、照明LED改修について、今後の財政状況を鑑みながら定期的な改修が必要であると判断する。							
④ 事業コスト		区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
		(最終)予算額		千円	3,644	30,179	32,843	63,624		
		決算額			千円	3,572	28,857	2,098		
			特定・その他財源()	千円						
		一般財源	千円	3,572	28,857	2,098				
		29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	委託料	497	工事請負費	1,601				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	経年劣化も激しいことから、市民のニーズは高い。		A
	市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	おおむね効果は得られている。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	入札による工事請負のため、効率化は図られていると考える。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし		A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、安全で効率的な施設の維持管理を実施している		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1		A	
		評価者 2		A	

Action 今後の事務事業の方向

30年度における取組のPRと方向性								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
	施工後20年以上経過しているため、大規模な修繕箇所が多々あり、財政状況を踏まえながら定期的な改修が必要であると判断する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター一般管理費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校給食センター・管理班	
									電話番号	444-1181	内線
									E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校給食センターの整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則		
	直接の対象者(〜に対して)	・幼稚園、小学校、中学校						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者		
	事業目的(〜という状態にするために)	・園児、児童、生徒に安定した給食を供給する									
	具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る臨時職員の雇用等 ・給食費収納管理システムの活用									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	事業の実績	1	報酬(給食センター運営委員)	千円	20	20	10	60			
		2	臨時職員賃金等	千円	5,924	3,191	1,294	1,362			
		3	給食費収納管理用システム経費	千円	447	447	454	455			
	事業の効果	1	運営委員会開催数	回	1	1	1	1			
		2	臨時調理員数	人数	4	4					
		3	収納率の向上	パーセント	96.77	96.59	97.02				
		4									
	事業効果に関する外部要因		・徴収対策について各学校からの協力								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・効率的な徴収対策を検討し徴収率の向上を達成した								
④ 事業コスト	区分		単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	11,527	7,061	5,865	6,759				
	決算額		千円	9,334	6,305	5,095					
		特定・その他財源()	千円	79	6	0					
		一般財源	千円	9,255	6,299	5,095					
	29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	1,294	委託料	1,009					
		需用費	783	賃借料	385						
		役務費	1,009								

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価				
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・運営委員会は給食センター運営に係る重要事項の審議のため必要不可欠		A				
	市の関与は妥当ですか	a	・運営委員会は条例等に基づき重要事項を審議する機関として機能している ・給食事業は市が実施する事業である						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	・運営委員会はセンター運営に精通している学校長、PTA、学識経験者がメンバー ・給食費収納業務の一元化により業務が円滑となる		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第一・第二両調理場の一括民間委託を平成29年度8月より実施 ・給食費収納業務の一元化により業務が円滑となる		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る	B				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校教育の充実を図るため、給食の円滑かつ安定した供給をはできたが、給食費収納率は向上の余地がある。		A				
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
30年度における取組のPRと方向性		・平成29年度の実績を踏まえ、30年度においても、給食費収納業務の円滑な運営に努める							
取り組み方向									
事務事業の今後の方向性		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・給食費収納管理システムを活用した業務の一元化により、今後もより一層の未納対策を進める ・より効率的な徴収対策の方法を検討する							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター調理場維持管理費						部 局	教育委員会		
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		実施の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
(八街市総合計画) 2015		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校給食センターの整備			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠	学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則							
直接の対象者 (〜に対して)		最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者								
事業目的 (〜という状態にするために)		給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等を良好な状態に保つ									
具体的な事業内容 (〜を行う)		給食センターの施設、設備等の適切な維持管理を行う									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
		事業の実績	1	修繕費	千円	2,780	2,965	2,500	3,000		
			2	委託料	千円	11,097	11,097	11,088	14,580		
			3	工事請負費	千円	13,184	2,616	10,862	4,860		
		事業の効果	1	施設、設備の修繕							
			2	施設、設備の維持管理委託							
			3								
			4								
		事業効果に関する外部要因									
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた ・第一調理場1階のトイレ改修(洋式化)第二調理場の外壁改修工事を実施した							
④ 事業コスト		区分	単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
		(最終) 予算額	千円	30,771	19,717	27,212	23,247				
		決算額		千円	27,876	17,433	25,188				
			特定・その他財源()	千円							
			一般財源	千円	27,876	17,433	25,188				
29年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	2,634	委託料	11,088	工事請負費	10,862				

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		・学校給食業務を円滑に運営するためには、施設、設備等の適切な維持管理が必要不可欠		
	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している					
有効性	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができた					
効率性	b	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない				
総括評価	a	主たる工事、修繕等は実施できた。施設の長寿命化のため、具体的な計画の立案が必要である。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
			評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	・施設、設備等の老朽化が進み適切な維持管理を図るためには、計画的な改修が必要となりコスト増が考えられる						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		学校給食センター調理場給食事業費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		学校給食センター・管理班	
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号		444-1181 内線	
		具体的施策		学校教育の充実						E-mail		kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校給食センターの整備			
		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (給食費)						実施根拠		学校給食法 八街市学校給食費徴収規則	
直接の対象者 (〜に対して)		・学校給食を受ける園児、児童、生徒						最終的な受益者		園児、児童、生徒、保護者			
事業目的 (〜という状態にするために)		・児童、生徒の心身の健全な発達のため、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけさせる											
具体的な事業内容 (〜を行う)		・市内13小中学校並びに市内3幼稚園への給食を供給											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分			単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
		事業の実績		1	消耗品費等	千円	37,518	36,304	38,204	38,336			
				2	賄い材料費	千円	298,964	290,901	279,498	269,854			
				3	委託料	千円	106,929	141,188	158,867	159,270			
		事業の効果		1	平均給食配食数/日(小・中学校)	人	5,694	5,487	5,279				
				2	平均給食配食数/日(幼稚園)	人	298	276	224				
				3									
4													
事業効果に関する外部要因		・第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託している ・第二調理場(調理業務)を平成28年度より民間委託している (平成29年8月より第一、第二調理場を一括して3カ年契約)											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・安全で安心な学校給食を円滑に配食することができた											
④ 事業コスト		区分			単位	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)				
		(最終)予算額			千円		460,265	482,827	488,447	469,392			
		決算額			千円		445,272	470,220	479,738				
				特定・その他財源()	千円		303,581	290,355	275,101				
				一般財源	千円		141,691	179,865	204,637				
29年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賄材料費	279,498									
			委託料	158,867									

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	・学校給食事業は児童、生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることなどを目的としている	A
	市の関与は妥当ですか	a	・配食日数や配食内容等適切に供給している				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	・児童、生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができた	A			
効率性	事業の効率性を高められますか	a	・材料の選定や献立の工夫等により給食内容の充実が図られており、現状でのコスト削減は難しい	A			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	・保護者より賄材料費を給食費として徴収しているが、未納者が多い	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	給食の円滑で安定した供給をすることができた。	A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
			評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向							
30年度における取組のPRと方向性	・給食費は賄材料費に全額充当しているが、未納者が多いことから一層の未納対策を進める ・食材や燃料等の高騰の懸念もあることから、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の充実を図る ・第一・第二両調理場の調理業務については、引き続き民間委託を実施し円滑な運用を図る(平成32年7月までの3カ年契約)						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	・平成29年8月に両調理場を一括して委託をし効率化を図ったところであるが、次回委託業務更新時に配送業務等を含めることを検討する						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



八街市のイメージキャラクター